くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書

~未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市~

平成29年6月 <熊本市>

目 次

1. 調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • 1
2. アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1)回答者の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2)調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • 5
■「熊本市の環境目標(基本計画)」について	
1. 熊本市の良好な環境 (生活・自然環境保全全般) が守られていると感じますか。	• • • 5
1-1. (1. で「どちらともいえない」「あまり感じない」「全く感じない」と答	• • • 7
えられた方)どのような理由から、そう思われますか?	
2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により	• • • 8
守られていると感じますか。	
3. 熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。	• • • 10
4. お住まいになっている地域では、良好な居住環境が(まち並・日照・風通し・	• • • 12
緑化等)が保たれていると感じますか。	
■「ひとづくりプロジェクト」について	
5. 日ごろ、環境保全のため次問(5-1.)のような実践活動を行っていますか。	• • • 14
5-1. 環境保全の実践項目の中で、行っていることをすべて選んでください。	• • • 16
6. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。	• • • 18
7. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	• • • 20
7-1. (7. で「参加した」と答えられた方)どのような、環境に関する学習会	• • • 22
やイベント等に参加しましたか。	
7-2. (7. で「参加した」と答えられた方)参加したことによって、環境保全	• • • 24
のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとした	
らどういったことですか。	
7-3. (7. で「参加していない」と答えられた方)参加しなかった理由は何で	• • • 26
すか。	
8. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	• • • 28
9. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加	• • • 30
したいと思いますか。	
10.市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行え	• • • 32
ば効果的だと思いますか。	

■ 「まちつくりプロシェクト」について	
11.環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	• • • 34
12. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	• • • 36
12-1.(12. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と	• • • 38
答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。	
12-2.(12. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と	• • • 40
答えられた方)現在、地域においてどのような環境保全活動に参加してい	
ますか。	
12-3. (12. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方)	• • • 42
今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	
12-4. (12. で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方今	• • • 44
今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。	
12-5.(12. で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えら	• • • 46
れた方)参加したいと思わない理由は何ですか。	
13. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動	• • • 48
に関わるようになると思いますか。(複数回答可)	
14.地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要	• • • 50
だと思いますか。	F0
15. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。	• • • 52
16. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何で	• • • 54
すか。	50
1 7. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。	• • • 56
■「生物多様性」について	50
18.「生物多様性」について知っていますか。	• • • 58
■「デカ山」は、ルークンで	
■「ごみ出しルール」について 19.現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。	• • • 60
19. 現在の熊本市のこみ出しルールを守っていますが。	• • • 60
■「スマートハウス」について	
20.「スマートハウス」について知っていますか。	• • • 62
21.「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか。	• • • 64
と 1. ・ハ・ 1・・ハハコー フロ・ビス (株別)にこのなり (後にこが,以中が)になって 3 10.0	• • • 64
■「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について	
22.「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくら	• • • 66
い関心を持っていますか。	00

■「レジ袋削減」について

2 1 2011111111	
23.買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。	• • • 68
23-1. (23. で「ほとんど持参していない」「全く持参していない」	•••70

と答えられた方) どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。

24. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。 ・・・72

25. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定について知って • • • 74 ますか。

3. 参考資料 (調査票)

1. 調査概要

■調査目的

平成23年3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では「未来へつなぎ、世界に誇れる環境 文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として 「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけてい る。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検 評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取り組み状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。また、設問1から5-1においては、これまで第6次熊本市総合計画で調査されてきた設問を、引き続き本調査にて継続したものとなっている。

■調査対象

市民:3.000人(住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出)

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布・回収

■調査期間

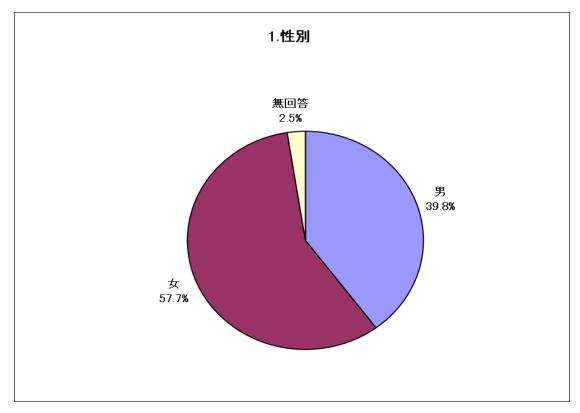
平成28年12月7日~平成29年2月3日

■有効回収数(有効回収率)

1.010人(33.7%)

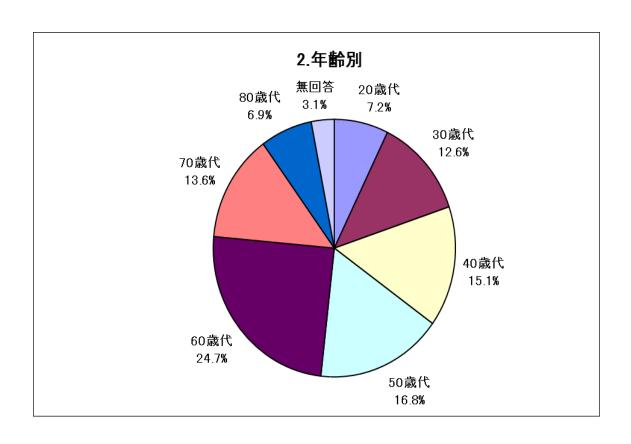
2. アンケート調査結果(平成 28 年度)

(1)回答者の内訳



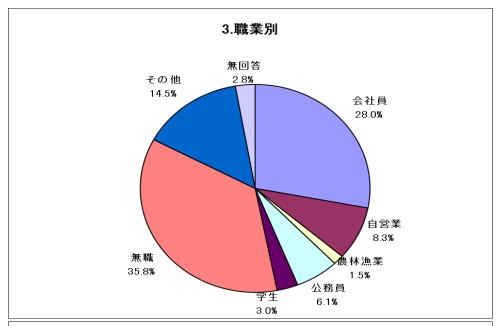
性別	アンケート 回答数	割合
男	402	39.8%
女	583	57.7%
無回答	25	2.5%
計	1,010	100.0%

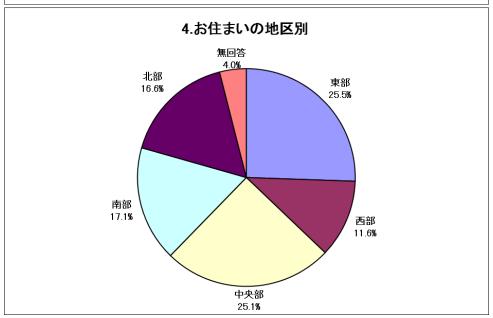
性別	アンケート回答数	アンケート 発送数	割合
男	402	1,408	28.6%
女	583	1,592	36.6%
無回答	25	0	
計	1,010	3,000	33.7%



年齢別	アンケート 回答数	割合
20歳代	73	7.2%
30歳代	127	12.6%
40歳代	153	15.1%
50歳代	170	16.8%
60歳代	249	24.7%
70歳代	137	13.6%
80歳代	70	6.9%
無回答	31	3.1%
計	1,010	100.0%

年齢別	アンケート 回答数	アンケート 発送数	割合
20歳代	73	382	19.1%
30歳代	127	479	26.5%
40歳代	153	515	29.7%
50歳代	170	470	36.2%
60歳代	249	567	43.9%
70歳代	137	348	39.4%
80歳代	70	239	29.3%
無回答	31	0	
計	1,010	3,000	



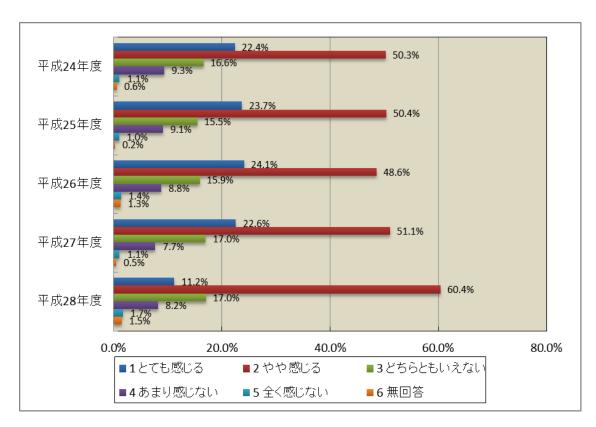


[]答欄	該当地区(小学校区域)					
1	東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、 託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、 長嶺、桜木東					
2	西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松 尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内					
3	中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大 江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、 出水南					
4	南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田、田迎西、力合西					
5	北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、 川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、 田底、吉松					

(2)調査結果

問1~4「熊本市の環境目標(基本計画)」について

- 問1. あなたは、熊本市の良好な環境(生活・自然環境全般)か守られていると感じますか。(1つだけ)
- ・「やや感じる」の割合が、60.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」17.0%、「とても感じる」11.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 71.6%で、 2.1 ポイント減少している。
- ・過去 5 年間の推移としては、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合が平成 24 年度の 72.7%から平成 28 年度では 71.6%と 1.1 ポイント減少している。一方で、「やや感じる」割合は、平成 24 年度の 50.3%から平成 28 年度の 60.4%へと上昇している。



※平成24~27年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無 回 答
全体	1,010	11.2%	60.4%	17.0%	8.2%	1.7%	1.5%
性別							
男性	402	10.0%	60.9%	18.2%	9.2%	1.5%	0.2%
女性	583	11.8%	60.4%	16.6%	7.7%	1.7%	1.7%
年代別							
20歳代	73	9.6%	47.9%	30.1%	9.6%	2.7%	0.0%
30歳代	127	11.8%	60.6%	18.1%	8.7%	0.8%	0.0%
40歳代	153	13.1%	56.2%	22.9%	6.5%	0.7%	0.7%
50歳代	170	10.6%	61.8%	14.1%	11.8%	1.2%	0.6%
60歳代	249	9.2%	63.9%	15.7%	7.6%	2.0%	1.6%
70歳代	137	10.2%	66.4%	13.1%	5.8%	1.5%	2.9%
80歳代	70	17.1%	57.1%	11.4%	8.6%	4.3%	1.4%
職業別							
会社員	283	11.3%	58.7%	20.1%	9.5%	0.4%	0.0%
自営業	84	13.1%	60.7%	14.3%	9.5%	1.2%	1.2%
農林漁業	15	13.3%	53.3%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%
公務員	62	12.9%	58.1%	22.6%	6.5%	0.0%	0.0%
学生	30	6.7%	63.3%	13.3%	10.0%	3.3%	3.3%
無職	362	10.2%	63.3%	15.7%	7.5%	1.9%	1.4%
その他	146	12.3%	58.9%	17.8%	6.2%	2.7%	2.1%
地区別							
東部	258	8.5%	63.2%	17.8%	7.8%	1.9%	0.8%
西部	117	12.0%	63.2%	14.5%	7.7%	0.9%	1.7%
中央	254	13.0%	57.9%	15.4%	10.2%	3.1%	0.4%
南部	173	13.3%	57.8%	20.8%	6.4%	0.6%	1.2%
北部	168	10.7%	63.1%	14.9%	8.3%	0.6%	2.4%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、女性が男性を 1.3 ポイント上回っている。

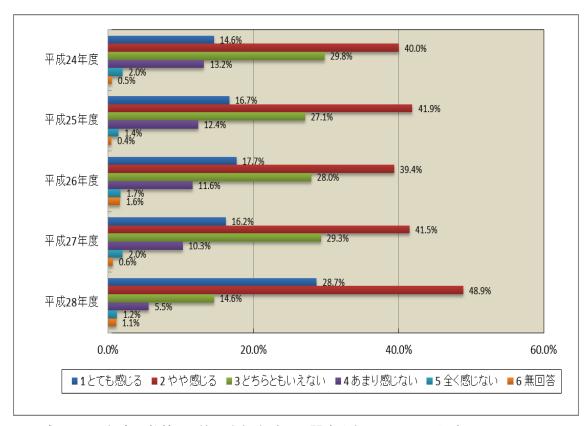
年代別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70 歳代が 76.6%と 最も高く、次いで80歳代、60歳代となっている。

地区別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、西部が 75.2%と最 も高く、次いで北部、東部となっている。 問1-1. <u>問1で「3 どちらともいえない」「4 あまり感じない」「5 全く感じない」と答えられた方にお尋ねします。</u>どのような理由から、そう思われますか?具体的に記入してください。

- ■多くの意見をいただいた中から、特に多かった意見は以下の6項目であった。
- 1 自転車、自動車、歩道を含めた道路整備が進んでいない。
- 2 ゴミだしルール不遵守、路上にゴミのポイ捨てや飼い犬の糞の放置など、環境保全意識のない方がいる。
- 3公共施設と商業施設が散在しておりまとまり感がない。
- 4 公園をもっと増やしたり、緑化整備をしてもらいたい。
- 5 街の景観として、街の標識や外国人向けの案内板が少ないことや、市電広告の仰々しさが見受けられる。
- 6 熊本地震の影響もあり、工事による車の渋滞、騒音、粉じん等があり生活環境に悪影響を及ぼしている。

問2. あなたは、熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1 つだけ)

- ・「やや感じる」の割合が、48.9%と最も高く、次いで「とても感じる」28.7%、「どちらともいえない」14.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 77.6%で、19.9 ポイント上昇している。
- ・過去5年間の推移としては、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合が平成24年度の54.6%から平成28年度では77.6%へと上昇している。



※平成 24~27 年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無 回 答
全体	1,010	28.7%	48.9%	14.6%	5.5%	1.2%	1.1%
性別							
男性	402	28.4%	49.5%	14.2%	6.7%	1.2%	0.0%
女性	583	28.6%	49.2%	14.9%	5.0%	1.0%	1.2%
年代別							
20歳代	73	17.8%	46.6%	28.8%	5.5%	1.4%	0.0%
30歳代	127	18.1%	55.9%	18.9%	5.5%	1.6%	0.0%
40歳代	153	25.5%	46.4%	21.6%	5.2%	0.7%	0.7%
50歳代	170	27.1%	50.0%	13.5%	8.2%	0.6%	0.6%
60歳代	249	31.7%	50.6%	10.0%	5.2%	1.6%	0.8%
70歳代	137	37.2%	51.1%	5.8%	3.6%	0.7%	1.5%
80歳代	70	42.9%	35.7%	12.9%	5.7%	1.4%	1.4%
職業別							
会社員	283	23.0%	48.8%	19.4%	8.5%	0.4%	0.0%
自営業	84	27.4%	53.6%	9.5%	4.8%	3.6%	1.2%
農林漁業	15	33.3%	33.3%	20.0%	6.7%	6.7%	0.0%
公務員	62	21.0%	58.1%	14.5%	6.5%	0.0%	0.0%
学生	30	30.0%	36.7%	20.0%	10.0%	0.0%	3.3%
無職	362	31.2%	51.9%	10.5%	4.4%	1.1%	0.8%
その他	146	36.3%	41.8%	16.4%	2.7%	1.4%	1.4%
地区別							
東部	258	28.7%	48.4%	14.0%	6.6%	1.2%	1.2%
西部	117	32.5%	47.0%	12.8%	6.0%	0.0%	1.7%
中央	254	27.2%	50.8%	13.8%	5.5%	2.4%	0.4%
南部	173	26.6%	52.6%	16.2%	4.0%	0.6%	0.0%
北部	168	31.5%	46.4%	15.5%	5.4%	0.6%	0.6%

【回答者の属性別にみた結果】

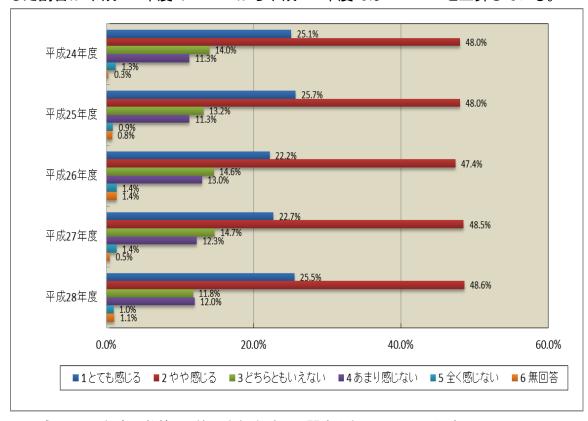
性別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、男性が女性を 0.1 ポイント上回っている。

年代別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70歳代が88.3%と最も高く、次いで60歳代、80歳代となっている。

地区別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、西部が 79.5%と最も高く、次いで南部、中央となっている。

問3. あなたは、熊本市の街なかに緑が多いと感じますか(1つだけ)

- ・「やや感じる」の割合が、48.6%と最も高く、次いで「とても感じる」25.5%、「あまり感じない」12.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 74.1%で、 2.9 ポイント増加している。
- ・過去 5 年間の推移としては、毎年度ごとに「やや感じる」または「とても感じる」と回答した割合が平成 24 年度の 73.1%から平成 28 年度では 74.1%へと上昇している。



※平成 24~27 年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無 回 答
全体	1,010	25.5%	48.6%	11.8%	12.0%	1.0%	1.1%
性別							
男性	402	24.9%	48.0%	13.7%	12.4%	0.7%	0.2%
女性	583	25.7%	49.2%	11.0%	11.8%	1.2%	1.0%
年代別							
20歳代	73	15.1%	45.2%	20.5%	17.8%	1.4%	0.0%
30歳代	127	22.0%	46.5%	9.4%	17.3%	4.7%	0.0%
40歳代	153	22.2%	49.7%	17.0%	10.5%	0.7%	0.0%
50歳代	170	24.1%	49.4%	12.4%	12.9%	0.0%	1.2%
60歳代	249	26.1%	51.0%	9.6%	11.2%	0.8%	1.2%
70歳代	137	30.7%	53.3%	8.0%	6.6%	0.0%	1.5%
80歳代	70	41.4%	34.3%	12.9%	11.4%	0.0%	0.0%
職業別							
会社員	283	20.8%	50.9%	11.3%	15.9%	1.1%	0.0%
自営業	84	16.7%	54.8%	16.7%	8.3%	1.2%	2.4%
農林漁業	15	33.3%	46.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%
公務員	62	24.2%	45.2%	11.3%	17.7%	1.6%	0.0%
学生	30	20.0%	50.0%	10.0%	16.7%	0.0%	3.3%
無職	362	28.5%	48.9%	11.9%	8.8%	1.1%	0.8%
その他	146	32.9%	41.8%	13.0%	11.0%	0.7%	0.7%
地区別							
東部	258	21.7%	50.0%	12.4%	13.6%	1.2%	1.2%
西部	117	28.2%	44.4%	16.2%	9.4%	0.9%	0.9%
中央	254	23.6%	50.4%	10.6%	13.0%	1.6%	0.8%
南部	173	28.9%	48.6%	11.0%	11.0%	0.6%	0.0%
北部	168	28.6%	47.0%	11.3%	11.9%	0.6%	0.6%

【回答者の属性別にみた結果】

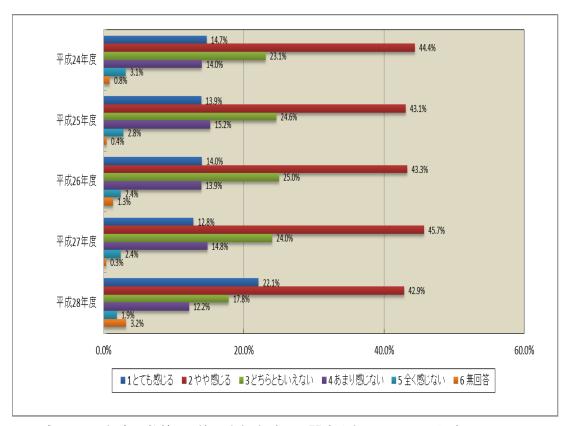
性別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、女性が男性を 2 ポイント上回っている。

年代別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70 歳代が 84%と 最も高く、次いで 60 歳代、80 歳代、となっている。

地区別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、南部が 77.5%と最も高く、次いで北部、中央となっている。

問4. あなたが、お住まいになっている地域では、良好な居住環境が(まち並・日照・ 風通し・緑化等)が保たれていると感じますか。(1つだけ)

- ・「やや感じる」の割合が、42.9%と最も高く、次いで「とても感じる」22.1%、「どちらともいえない」17.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 65.0%で、6.5 ポイント増加している。
- ・過去 5 年間の推移としては、毎年度ごとに「とても感じる」、「やや感じる」と回答した 割合が平成 24 年度の 59.1%から平成 28 年度では 65.0%へと上昇している。



※平成 24~27 年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無 回 答
全体	1,010	22.1%	42.9%	17.8%	12.2%	1.9%	3.2%
性別							
男性	402	19.7%	44.5%	18.7%	13.4%	2.2%	1.5%
女性	583	23.5%	42.2%	17.3%	11.7%	1.7%	3.6%
年代別							
20歳代	73	24.7%	37.0%	23.3%	12.3%	2.7%	0.0%
30歳代	127	23.6%	44.9%	15.7%	12.6%	1.6%	1.6%
40歳代	153	14.4%	45.8%	20.3%	17.6%	0.7%	1.3%
50歳代	170	19.4%	45.3%	17.1%	13.5%	1.2%	3.5%
60歳代	249	21.7%	42.6%	20.9%	9.2%	2.8%	2.8%
70歳代	137	26.3%	38.7%	15.3%	10.9%	1.5%	7.3%
80歳代	70	28.6%	45.7%	8.6%	12.9%	4.3%	0.0%
職業別							
会社員	283	15.2%	45.6%	18.7%	17.7%	1.1%	1.8%
自営業	84	22.6%	35.7%	21.4%	11.9%	2.4%	6.0%
農林漁業	15	40.0%	40.0%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%
公務員	62	25.8%	46.8%	16.1%	8.1%	1.6%	1.6%
学生	30	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	362	23.5%	43.1%	18.0%	10.8%	1.9%	2.8%
その他	146	24.0%	40.4%	17.8%	10.3%	3.4%	4.1%
地区別							
東部	258	19.8%	44.2%	16.7%	12.4%	2.7%	4.3%
西部	117	22.2%	40.2%	20.5%	11.1%	1.7%	4.3%
中央	254	22.8%	43.3%	18.5%	11.4%	2.4%	1.6%
南部	173	27.7%	38.7%	16.8%	13.3%	1.2%	2.3%
北部	168	19.6%	49.4%	16.1%	12.5%	1.2%	1.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、女性が男性を 1.5 ポイント上回っている。

年代別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、80歳代が74.3%と最も高く、次いで30歳代、70歳代となっている。

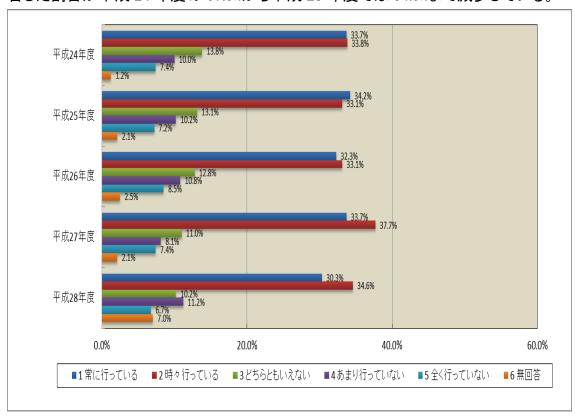
地区別では、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、北部が 69.0%と最も高く、次いで南部、中央となっている。

(2)調査結果

問5~10「ひとづくりプロジェクト」について

問5. あなたは日ごろ、環境保全のため次問(問5-1)のような実践活動を行っていますか。(1つだけ)

- ・「時々行っている」の割合が、34.6%と最も高く、次いで「常に行っている」30.3%、「あまり行っていない」11.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「常に行っている」と「時々行っている」を合わせた割合は 64.9%で、6.5 ポイント減少している。
- ・過去5年間の推移としては、毎年度ごとに「常に行っている」、「時々行っている」と回答した割合が平成24年度の67.5%から平成28年度では64.9%まで減少している。



※平成 24~27 年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	常に行っている	時々行っている	どちらともいえない	あまり行っていない	全く行っていない	無 回 答
全体	1,010	30.3%	34.6%	10.2%	11.2%	6.7%	7.0%
性別							
男性	402	27.6%	35.1%	10.9%	13.2%	8.2%	5.0%
女性	583	32.4%	34.3%	10.1%	9.9%	5.7%	7.5%
年代別							
20歳代	73	34.2%	35.6%	9.6%	13.7%	4.1%	2.7%
30歳代	127	30.7%	39.4%	14.2%	7.9%	4.7%	3.1%
40歳代	153	36.6%	29.4%	11.1%	14.4%	3.9%	4.6%
50歳代	170	31.8%	35.9%	10.0%	11.2%	5.9%	5.3%
60歳代	249	28.5%	39.8%	10.4%	8.8%	5.6%	6.8%
70歳代	137	24.1%	29.2%	8.0%	13.1%	12.4%	13.1%
80歳代	70	31.4%	22.9%	10.0%	11.4%	14.3%	10.0%
職業別							
会社員	283	28.6%	37.8%	12.7%	11.7%	3.9%	5.3%
自営業	84	29.8%	35.7%	9.5%	13.1%	4.8%	7.1%
農林漁業	15	26.7%	40.0%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%
公務員	62	30.6%	43.5%	11.3%	8.1%	3.2%	3.2%
学生	30	36.7%	30.0%	10.0%	10.0%	6.7%	6.7%
無職	362	29.6%	31.5%	9.4%	11.6%	9.1%	8.8%
その他	146	37.0%	31.5%	9.6%	8.9%	8.9%	4.1%
地区別							
東部	258	32.2%	33.7%	10.1%	8.9%	7.8%	7.4%
西部	117	29.9%	35.0%	6.8%	11.1%	8.5%	8.5%
中央	254	36.2%	28.7%	8.7%	14.2%	6.7%	5.5%
南部	173	24.9%	39.9%	11.6%	11.0%	5.8%	6.9%
北部	168	27.4%	38.7%	13.1%	11.3%	4.8%	4.8%

【回答者の属性別にみた結果】

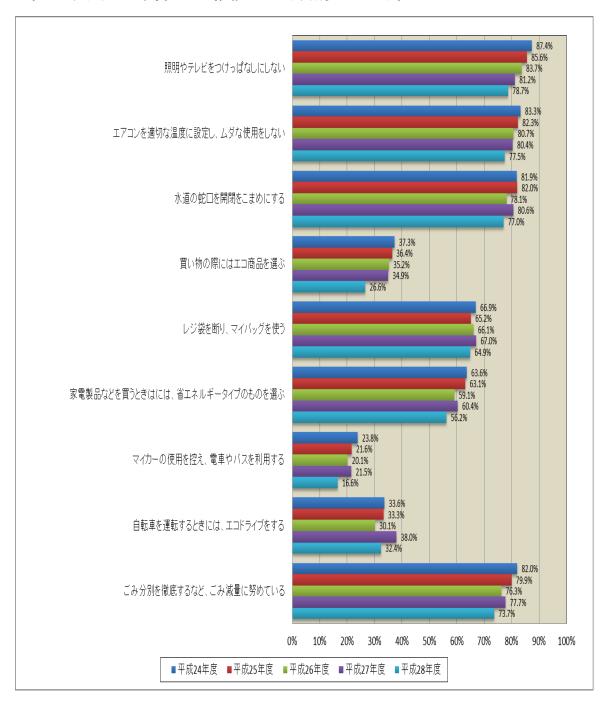
性別では、「常に行っている」と「時々行っている」を合わせた割合は、女性が男性を 4.0 ポイント上回っている。

年代別では、「常に行っている」と「時々行っている」を合わせた割合は、30 歳代が70.1%と最も高く、次いで60歳代、50歳代となっている。

地区別では、「常に行っている」と「時々行っている」を合わせた割合は、北部が 66.1%と最も高く、次いで東部、中央と西部が同率となっている。

問5-1. 次の環境保全の実践項目の中で、あなたが行っていることをすべて選んでください。(いくつでも可)

- ・「照明やテレビをつけっぱなしにしない」割合が 78.7%で最も高く、次いで「エアコンを適切な温度に設定し、ムダな使用をしない」77.5%、「水道の蛇口の開閉をこまめにする」77%と続いた。
- ・前述の割合については前回調査時と比べ、それぞれ 2.5、2.9、3.6 ポイントと減少した。また、平成 24 年度からの推移としても、減少している。



※平成 24~27 年度の数値は、第6次総合計画に関する市民アンケート調査より

	合計	照明やテレビをつけっぱなしにしない	ナ使用をしないエアコンを適切な温度に設定し、ムダ	水道の蛇口の開閉をこまめにする	買い物の際にはエコ商品を選ぶ	レジ袋を断り、マイバッグを使う	ネルギー タイプのものを選ぶ家電製品などを買うときはには、省エ	利用する マイカーの使用を控え、電車やバスを	自転車を運転するときには、エコドラ	ジみ分別を徹底するなど、ごみ減量に
全体	1,010	78.7%	77.5%	77.0%	26.6%	64.9%	56.2%	16.6%	32.4%	73.7%
性別										
男性	402	77.9%	72.4%	72.4%	20.9%	54.0%	53.5%	16.4%	39.3%	67.2%
女性	583	79.2%	81.6%	80.6%	30.0%	72.9%	58.7%	16.8%	27.8%	78.6%
年代別										
20歳代	73	68.5%	58.9%	64.4%	19.2%	71.2%	32.9%	9.6%	37.0%	47.9%
30歳代	127	74.8%	75.6%	73.2%	18.9%	62.2%	52.0%	12.6%	33.1%	65.4%
40歳代	153	79.1%	73.9%	76.5%	24.8%	56.9%	56.2%	11.8%	35.9%	71.2%
50歳代	170	78.2%	76.5%	79.4%	31.2%	69.4%	64.1%	11.2%	37.6%	74.1%
60歳代	249	82.3%	85.1%	81.1%	30.1%	67.5%	69.5%	17.3%	35.3%	79.5%
70歳代	137	82.5%	83.2%	76.6%	25.5%	66.4%	48.9%	22.6%	27.0%	84.7%
80歳代	70	80.0%	77.1%	85.7%	28.6%	64.3%	45.7%	37.1%	8.6%	82.9%
職業別										
会社員	283	76.7%	71.4%	72.8%	18.7%	61.8%	56.2%	9.9%	36.7%	66.8%
自営業	84	79.8%	76.2%	79.8%	32.1%	57.1%	65.5%	13.1%	36.9%	76.2%
農林漁業	15	93.3%	80.0%	86.7%	20.0%	46.7%	53.3%	6.7%	40.0%	80.0%
公務員	62	66.1%	64.5%	66.1%	19.4%	56.5%	53.2%	16.1%	43.5%	61.3%
学生	30	83.3%	90.0%	93.3%	36.7%	70.0%	56.7%	30.0%	33.3%	80.0%
無職	362	80.1%	83.4%	79.8%	27.6%	70.2%	56.1%	22.4%	27.3%	79.8%
その他 地区別	146	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	258	79.5%	79.1%	77.1%	26.0%	67 10/	53.9%	17.40/	17.40/	35.3%
<u>東部</u> 西部	117	79.5% 75.2%	79.1% 67.5%	77.1%	29.9%	67.1% 65.0%	53.9%	17.4% 17.9%	17.4% 33.3%	74.4%
中央	254	75.2%	86.2%	74.4%	29.9%	68.5%	57.3%	22.4%	33.3%	74.4%
南部	173	80.9%	76.9%	83.2%	26.6%	59.0%	64.2%	6.4%	34.7%	70.8%
北部	168	79.8%	70.9%	75.6%	28.6%	64.9%	55.4%	16.1%	29.8%	71.1%
시[미)	801	/ Ყ.Ბ%	/U.8%	70.0%	Z8.0%	04.9%	33.4%	10.1%	۷9.8%	/4.4%

【回答者の属性別にみた結果】

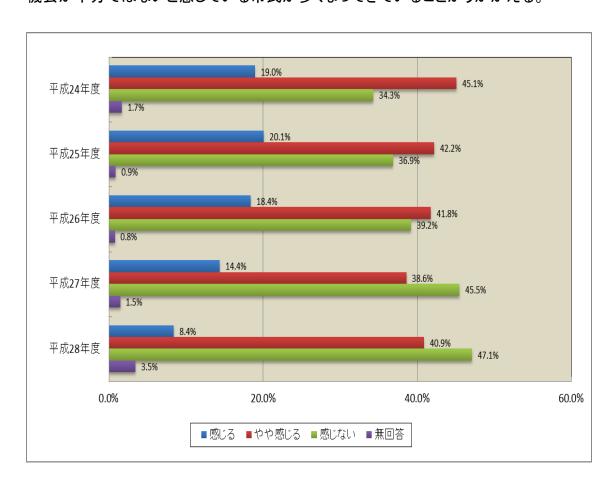
性別では、「自転車を運転するときには、エコドライブをする」項目を除いて、女性の方の数値が高く、男性より女性が、環境保全への実践意識が高いことが分かる。

年代別では、全項目の割合は、60歳代、50歳代、70歳代の順に高く、50歳代から70歳代が環境保全への実践意識が高いことが分かる。

地区別では、全項目の割合は、中央、南部、北部の順に高い。

問6. 環境については学ぶ機会(学習会やイベント等)増えてきたと感じますが (1つだけ)

- ・「感じない」の割合が、47.1%と最も高く、次いで「やや感じる」40.9%、「感じる」8.4% となっている。
- ・前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 49.3%で、3.7 ポイント減少している。
- ・過去5年間の推移としては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が平成24年度の64.1%から平成28年度では49.3%まで毎年減少しており、学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多くなってきていることがうかがえる。



	合計	感 じ る	やや感じる	感じない	無 回 答
全体	1,010	8.4%	40.9%	47.1%	3.5%
性別					
男性	402	8.2%	39.1%	50.7%	2.0%
女性	583	8.7%	42.0%	45.3%	3.8%
年代別					
20歳代	73	4.1%	32.9%	61.6%	1.4%
30歳代	127	10.2%	29.9%	59.1%	0.8%
40歳代	153	11.1%	35.9%	51.6%	1.3%
50歳代	170	6.5%	42.9%	48.8%	1.8%
60歳代	249	7.6%	48.2%	41.0%	3.2%
70歳代	137	8.8%	48.9%	34.3%	8.0%
80歳代	70	11.4%	31.4%	50.0%	5.7%
職業別					
会社員	283	6.7%	34.6%	57.2%	1.4%
自営業	84	9.5%	44.0%	40.5%	6.0%
農林漁業	15	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%
公務員	62	4.8%	45.2%	48.4%	1.6%
学生	30	23.3%	46.7%	30.0%	0.0%
無職	362	8.3%	44.2%	42.8%	4.4%
その他	146	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地区別					
東部	258	7.4%	39.9%	49.6%	3.1%
西部	117	6.8%	42.7%	44.4%	6.0%
中央	254	9.1%	37.0%	51.2%	2.8%
南部	173	8.7%	45.7%	42.2%	2.9%
北部	168	10.7%	41.7%	46.4%	1.2%

【回答者の属性別にみた結果】

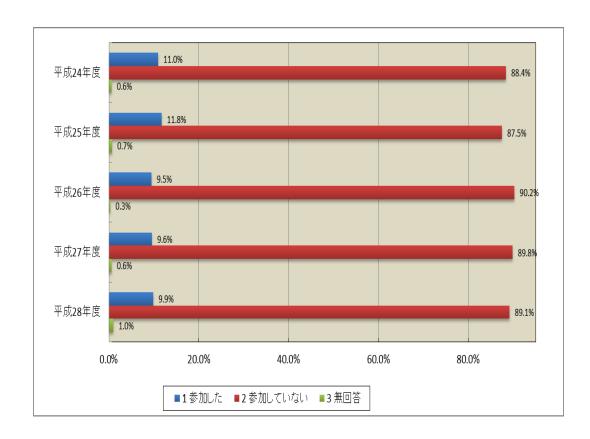
性別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、女性が男性を 3.4 ポイント上回っている。

年代別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70 歳代が 57.7%と最も高く、次いで 60 歳代、50 歳代となっている。

地区別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、南部が 54.3%と最も高く、次いで西部、中央となっている。

問7. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。 (1つだけ)

- ・「参加していない」と回答した人の割合が 89.1%と「参加した」9.9%を大きく上回っている。
- ・前回調査と比較すると、「参加した」の割合は 0.3 ポイント上昇している。
- ・過去5年間の推移としては、それほど大きな変動は見られない。



	合計	参 加 計 た		無回答
全体	1,010	9.9%	89.1%	1.0%
性別				
男性	402	12.4%	86.8%	0.7%
女性	583	8.1%	91.4%	0.5%
年代別				
20歳代	73	5.5%	94.5%	0.0%
30歳代	127	3.9%	94.5%	1.6%
40歳代	153	9.2%	90.8%	0.0%
50歳代	170	11.2%	88.2%	0.6%
60歳代	249	10.0%	89.6%	0.4%
70歳代	137	16.1%	82.5%	1.5%
80歳代	70	12.9%	87.1%	0.0%
職業別				
会社員	283	7.8%	91.5%	0.7%
自営業	84	9.5%	90.5%	0.0%
農林漁業	15	20.0%	80.0%	0.0%
公務員	62	9.7%	88.7%	1.6%
学生	30	30.0%	70.0%	0.0%
無職	362	9.1%	90.1%	0.8%
その他	146	10.3%	89.7%	0.0%
地区別				
東部	258	9.7%	89.5%	0.8%
西部	117	9.4%	89.7%	0.9%
中央	254	9.4%	90.2%	0.4%
南部	173	12.7%	86.7%	0.6%
北部	168	8.9%	91.1%	0.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「参加した」の割合が、男性が女性を4.3ポイント上回っている。

年代別では、「参加した」の割合が、70歳代が16.1%と最も高く、次いで80歳代、50歳代と続いている。

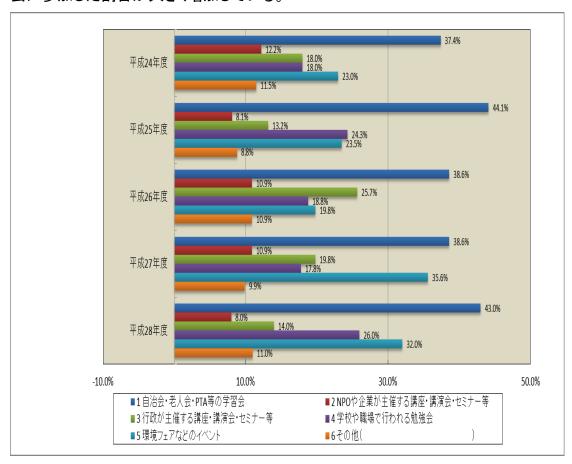
地区別では、「参加した」の割合が、南部が12.7%と最も高く、次いで東部、西部と中央が同率となっている。

問7-1. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。

この1年以内で、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

(複数回答可)

- ・「自治会・老人会・PTA 等の学習会」が 43.0%と最も高く、次いで「環境フェアなどのイベント」32.0%、「学校や職場で行われる勉強会」26.0%となっている。
- ・前回調査と比較し「自治会、老人会、PTA等の学習会」、「学校や職場で行われる勉強会」がそれぞれ、4.4、8.2 ポイント増加している。
- ・過去 5 年間の推移としては、環境フェアなどのイベント、学校や職場で行われる勉強会に参加した割合が大きく増加している。



	合 計	PTA等の学習会自治会・老人会・	セミナー 等する講座・講演会・NPOや企業が主催	ナー等座・講演会・セミ行政が主催する講	学校や職場で行われ	環境フェアなどのイ	その他((
全体	100	43.0%	8.0%	14.0%	26.0%	32.0%	11.0%
性別							
男性	50	38.0%	8.0%	16.0%	30.0%	28.0%	14.0%
女性	47	55.3%	8.5%	12.8%	23.4%	34.0%	12.8%
年代別							
20歳代	4	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
30歳代	5	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
40歳代	14	21.4%	21.4%	14.3%	28.6%	42.9%	7.1%
50歳代	19	26.3%	10.5%	5.3%	42.1%	36.8%	0.0%
60歳代	25	52.0%	12.0%	16.0%	24.0%	40.0%	20.0%
70歳代	22	77.3%	0.0%	27.3%	9.1%	18.2%	18.2%
80歳代	9	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%
職業別							
会社員	22	22.7%	22.7%	13.6%	0.0%	40.9%	0.0%
自営業	8	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%
農林漁業	3	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%
公務員	6	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
学生	9	33.3%	11.1%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%
無職	33	81.8%	0.0%	12.1%	18.2%	18.2%	18.2%
その他	15	33.3%	13.3%	26.7%	20.0%	46.7%	20.0%
地区別							
東部	25	40.0%	12.0%	16.0%	36.0%	24.0%	8.0%
西部	11	54.5%	18.2%	0.0%	9.1%	27.3%	36.4%
中央	24	45.8%	8.3%	12.5%	20.8%	29.2%	29.2%
南部	22	59.1%	0.0%	22.7%	27.3%	22.7%	13.6%
北部	15	33.3%	6.7%	13.3%	26.7%	60.0%	6.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「PTA 等の学習会・自治会・老人会」への参加の割合が、女性が男性を 17.3 ポイント上回っている。一方で、「学校や職場で行われる勉強会」への参加の割 合は、男性が女性を 6.6 ポイント上回っている。

年代別では、「学校や職場で行われる勉強会」への参加については 30 歳代、20 歳代の順に高くなっており、「自治会・老人会・PTA 等の学習会」への参加については、70 歳代、80 歳代の順に高くなっている。

地区別では、「PTA等の学習会・自治会・老人会」への参加については、南部が最も高くなっており、「環境フェアなどのイベント」への参加については、北部が最も高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

公園の清掃、花植え、家庭菜園作り他

民間団体主催の自然塾に参加

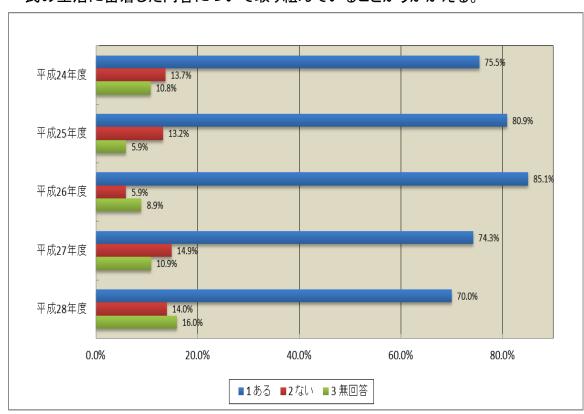
国土交通省施設でのイベント参加

海岸清掃(白川わくわくランド)

問7-2. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動) はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

- ・今回調査では、「ある」と回答した人の割合が 70.0%と、「ない」を大きく上回っている。
- ・前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化は見られない。
- ・過去5年間の推移として、「参加した」と回答したうちの7割の方が、日常生活の中で 実践できるエコ活動や、地域の身近な環境保全への取り組みを実践しており、市 民の生活に密着した内容について取り組んでいることがうかがえる。



	合計	ある	ない	無 回 答
全体	100	70.0%	14.0%	16.0%
性別		, , , ,		
男性	50	74.0%	10.0%	16.0%
女性	47	68.1%	17.0%	14.9%
年代別				
20歳代	4	50.0%	0.0%	50.0%
30歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%
40歳代	14	64.3%	14.3%	21.4%
50歳代	19	78.9%	10.5%	10.5%
60歳代	25	72.0%	12.0%	16.0%
70歳代	22	68.2%	13.6%	18.2%
80歳代	9	66.7%	22.2%	11.1%
職業別				
会社員	22	68.2%	9.1%	22.7%
自営業	8	75.0%	0.0%	25.0%
農林漁業	3	66.7%	33.3%	0.0%
公務員	6	66.7%	33.3%	0.0%
学生	9	55.6%	11.1%	33.3%
無職	33	78.8%	12.1%	9.1%
その他	15	73.3%	20.0%	6.7%
地区別				
東部	25	72.0%	16.0%	12.0%
西部	11	81.8%	9.1%	9.1%
中央	24	79.2%	8.3%	12.5%
南部	22	63.6%	13.6%	22.7%
北部	15	53.3%	20.0%	26.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「ある」割合が、男性が女性を 5.9 ポイント上回っている。 年代別では、「ある」割合が 30 歳代、50 歳代、60 歳代の順で高くなっている。 地区別では、「ある」割合が西部、中央、東部の順で高くなっている。

◆参考◆「ある」と答えた場合、実践している内容

ゴミの分別・ゴミの減量・コンポスト、節水・節電・打ち水、地域の清掃、ゴミステーションの美化・海浜清掃、竹林の整備・植樹・ゴーヤ垣根作り 乾電池を充電式・エアコン温度設定

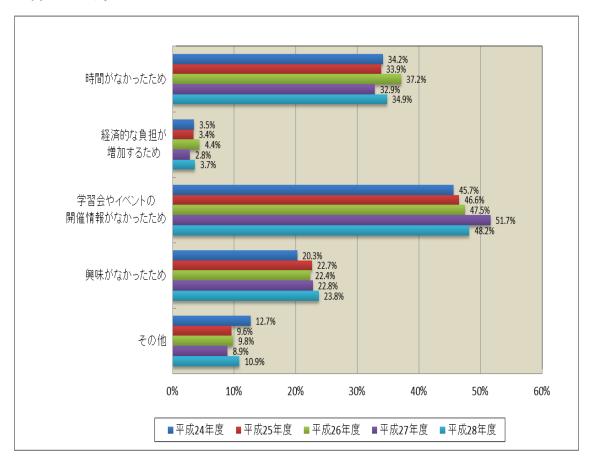
◆参考◆「ない」と答えた場合、実践していない内容

- ・環境学習に関する学習会やセミナーの開催情報がない
- ・積極的な取り組みや、参加する意識がない
- ・仕事の都合上、参加する時間がない

問7-3. 問7で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- 「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が 48.2%と最も高く、次いで 「時間がなかったため」34.9%「興味がなかったため」23.8%となっている。
- ・前回調査との比較や過去 5 年間の推移としては、「興味がなかったため」の割合が 上昇している。



		め時	加経	かの学	め興	
		間	す済	つ開習	味	
	_	が	る的	た催会	がか	そ
	合	な か	た な め 負	た情や め報イ	な か	o o
	計	かっ	担	がべ	かっ	他
		<i>t</i> =	が	なン	<i>t</i> =	
		<i>t</i> =	増	۲	<i>t</i> =	
全体	900	34.9%	3.7%	48.2%	23.8%	10.9%
性別						
男性	349	31.8%	4.9%	52.1%	27.5%	27.5%
女性	533	37.5%	3.0%	47.1%	22.0%	10.9%
年代別						
20歳代	64	37.5%	10.9%	45.3%	40.6%	4.7%
30歳代	120	39.2%	1.7%	49.2%	30.8%	0.0%
40歳代	139	41.0%	2.2%	53.2%	29.5%	3.6%
50歳代	150	40.0%	5.3%	54.7%	23.3%	10.0%
60歳代	223	39.0%	4.0%	49.3%	19.3%	11.7%
70歳代	113	21.2%	1.8%	43.4%	17.7%	0.0%
80歳代	61	16.4%	3.3%	45.9%	14.8%	29.5%
職業別	•	•				
会社員	259	40.5%	3.5%	53.3%	27.0%	5.8%
自営業	76	36.8%	5.3%	0.0%	15.8%	6.6%
農林漁業	12	41.7%	0.0%	41.7%	0.0%	8.3%
公務員	55	43.6%	1.8%	47.3%	32.7%	5.5%
学生	21	28.6%	9.5%	0.0%	23.8%	23.8%
無職	326	27.6%	0.0%	47.5%	21.2%	15.0%
その他	131	40.5%	3.8%	46.6%	0.0%	15.3%
地区別	•	·				
東部	231	36.8%	5.2%	48.1%	22.1%	11.3%
西部	105	40.0%	3.8%	48.6%	24.8%	8.6%
中央	229	30.6%	3.5%	51.5%	24.5%	12.7%
南部	150	32.7%	4.0%	46.0%	30.7%	10.7%
北部	153	37.9%	2.6%	51.0%	19.0%	5.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「時間がなかったため」の割合が、女性が男性を 5.7 ポイント上回っている。それ以外の項目については、男性が女性を上回っている。

年代別では、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が、40歳代及び50歳代が高くなっている。一方、「興味がなかったため」の割合は、若年層ほど高くなっている。

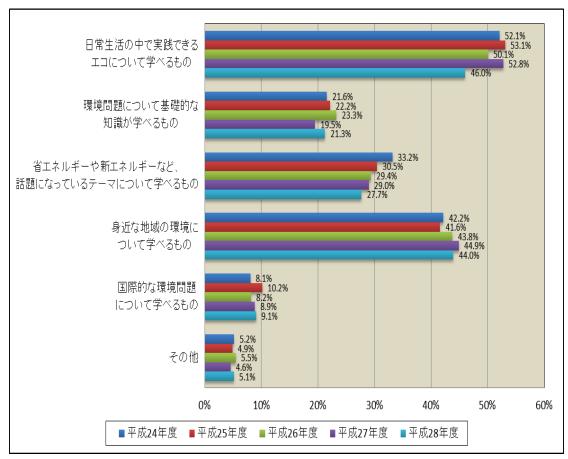
◆参考◆「その他」の内容

- ・開催場所まで遠い
- ・託児所等などもなく子ども連れで会場まで行きづらい
- ・年齢及び身体的不自由により足を運べないこと

問8. 今後、どのような<u>内容</u>の学習会等に参加してみたいと思いますか。 (複数回答可)

- ・「日常生活の中で実践できるエコについて学べる」の割合が 46.0%と最も高くなっている。次いで「身近な地域の環境について学べるもの」44.0%、「省エネルギーや新エネルギーなど話題になっているテーマについて学べるもの」27.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化はみられない。
- ・過去 5 年間の推移としては、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」 や、「身近な地域の環境について学べるもの」などが毎年上位を占めており、市民の 生活に密着した内容のものが求められていることがうかがえる。

また、「省エネルギー、新エネルギーなど話題になっているテーマについて学べるもの」が減少している。



A 11-	合計	いて学べるもの日常生活の中で実	るもの 礎的な知識が学 境問題について	べるもの テーマについて学 話題になっている でいる いる	のについて学べるも身近な地域の環境	のについて学べるも国際的な環境問題	そ の 他
<u>全体</u> 性別	1,010	46.0%	21.3%	27.7%	44.0%	9.1%	5.1%
男性	402	39.6%	21.6%	31.8%	45.0%	11.2%	6.5%
女性	583	50.8%	21.0%	25.0%	42.7%	8.1%	4.3%
年代別	303	JU.0 /0 [Z1.4/0	23.070	42.7/0	0.1/0	4.0/0
20歳代	73	64.4%	17.8%	24.7%	26.0%	11.0%	2.7%
30歳代	127	52.0%	18.1%	23.6%	50.4%	13.4%	3.1%
40歳代	153	45.8%	20.9%	28.8%	44.4%	13.1%	9.2%
50歳代	170	46.5%	20.6%	35.9%	37.1%	7.6%	4.7%
60歳代	249	43.0%	26.1%	26.9%	50.6%	9.2%	4.8%
70歳代	137	45.3%	24.8%	28.5%	45.3%	3.6%	4.4%
80歳代	70	28.6%	12.9%	18.6%	41.4%	5.7%	7.1%
職業別							
会社員	283	45.2%	20.5%	32.9%	44.9%	9.9%	4.2%
自営業	84	46.4%	20.2%	34.5%	44.0%	7.1%	4.8%
農林漁業	15	33.3%	13.3%	26.7%	60.0%	0.0%	0.0%
公務員	62	56.5%	22.6%	24.2%	45.2%	16.1%	3.2%
学生	30	56.7%	26.7%	30.0%	26.7%	13.3%	6.7%
無職	362	45.0%	21.0%	25.4%	45.9%	8.3%	5.5%
その他	146	46.6%	26.7%	22.6%	37.7%	9.6%	7.5%
東部	258	47.3%	25.2%	31.0%	44.2%	9.3%	5.0%
西部	117	45.3%	23.9%	23.1%	47.9%	6.0%	5.1%
中央	254	46.1%	22.8%	27.6%	46.1%	12.2%	6.3%
南部	173	45.7%	14.5%	29.5%	43.4%	9.8%	2.9%
北部	168	47.0%	22.0%	26.2%	37.5%	7.1%	5.4%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」の割合が、男性が女性を 6.8 ポイント上回っている。一方で、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合は、女性が男性を 11.2 ポイント上回っている。

年代別では、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合は、20歳代から50歳代、「身近な地域の環境について学べるもの」の割合は、30歳代と60歳代が高くなっている。

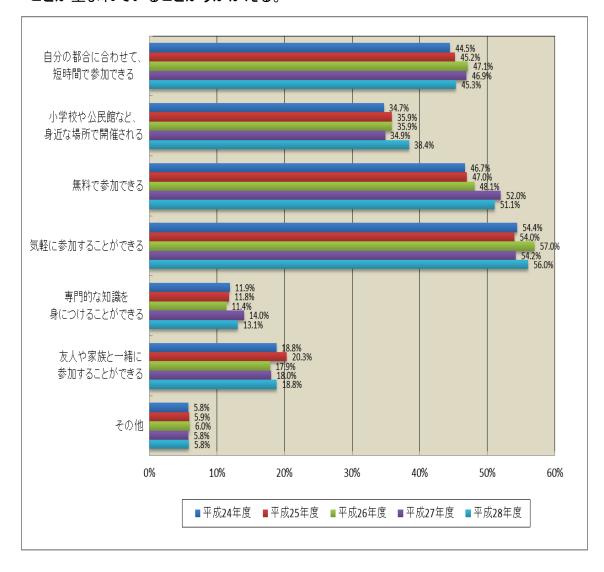
地区別では、「国際的な環境問題について学べるもの」の割合は、中央が 12.2%と高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- 子どもが学校で楽しめるもの
- ・エコを体験できるツアー
- ・緑川水系の水質汚染系について講演

問9. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加 したいと思いますか。(複数回答可)

- ・「気軽に参加することができる」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「無料で参加できる」が 51.1%、「自分の都合に合わせて短時間で参加できる」が 45.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、順位や割合に大きな変化は見られない。
- ・過去 5 年間の推移をみると、「小学校や公民館など身近な場所で開催される」の割合が増加しており、時間や金銭的な負担をかけずに身近な場所で開催されることが望まれていることがうかがえる。



	슴 計	加できるせて、短時間で参自分の都合に合わ	開催されるど、身近な場所で小学校や公民館な	無料で参加できる	とができる気軽に参加するこ	きるにつけることがで専門的な知識を身	できるできることが友人や家族と一緒	そ の 他
全体	1,010	45.3%	38.4%	51.1%	56.0%	13.1%	18.8%	5.8%
性別								
男性	402	38.6%	35.8%	48.8%	53.0%	16.7%	15.7%	6.7%
女性	583	50.6%	40.5%	53.2%	58.8%	10.6%	21.3%	4.8%
年代別								
20歳代	73	67.1%	15.1%	69.9%	49.3%	12.3%	30.1%	2.7%
30歳代	127	50.4%	34.6%	68.5%	55.9%	16.5%	29.1%	9.4%
40歳代	153	60.8%	31.4%	62.1%	56.2%	17.0%	19.0%	9.2%
50歳代	170	50.0%	37.1%	53.5%	60.0%	15.9%	17.1%	2.4%
60歳代	249	41.4%	41.8%	43.0%	62.7%	9.6%	16.9%	4.4%
70歳代	137	29.2%	51.8%	35.8%	53.3%	8.8%	13.9%	4.4%
80歳代	70	17.1%	52.9%	31.4%	38.6%	11.4%	14.3%	8.6%
職業別								
会社員	283	54.1%	29.3%	60.4%	54.1%	17.0%	19.1%	6.4%
自営業	84	40.5%	36.9%	45.2%	51.2%	17.9%	14.3%	3.6%
農林漁業	15	33.3%	33.3%	40.0%	73.3%	6.7%	13.3%	0.0%
公務員	62	59.7%	33.9%	53.2%	61.3%	11.3%	19.4%	6.5%
学生	30	50.0%	26.7%	56.7%	50.0%	13.3%	23.3%	10.0%
無職	362	37.8%	47.0%	43.9%	57.5%	9.4%	18.2%	5.0%
その他	146	47.9%	43.8%	55.5%	59.6%	15.1%	24.0%	5.5%
地区別								
東部	258	50.0%	36.0%	51.9%	55.8%	17.4%	16.7%	4.3%
西部	117	41.0%	42.7%	53.8%	57.3%	19.7%	21.4%	3.4%
中央	254	45.3%	35.4%	51.2%	55.1%	10.2%	17.7%	9.1%
南部	173	39.9%	42.2%	47.4%	60.1%	11.6%	21.4%	5.2%
北部	168	46.4%	41.7%	53.0%	56.0%	9.5%	20.2%	3.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」の割合が、女性が男性 を 12 ポイント上回っている。

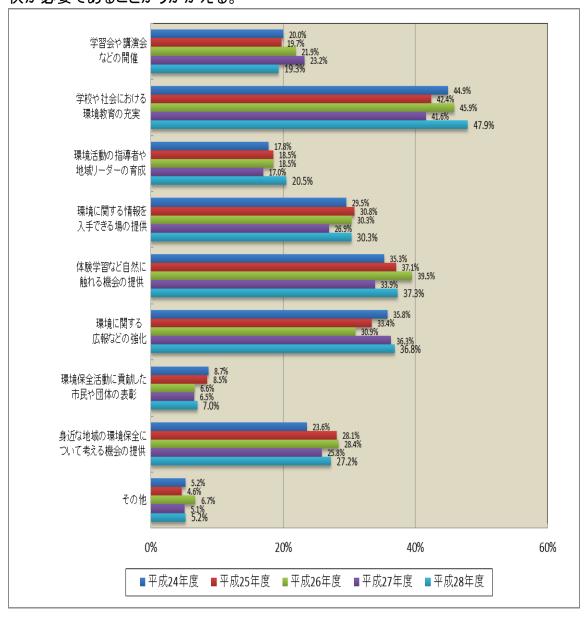
年代別では、「無料で参加できる」の割合が、20歳代から40歳代が高くなっている。 また、「気軽に参加できる」の割合は、60歳代が最も高くなっている。

地区別では、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」の割合が、東部が50.0%と最も高く、「気軽に参加することができる」の割合は、南部が60.1%と最も高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・ネットなどを使って自宅でできるもの
- 小さな子どもも参加できる
- 参加することにより特典がある

- 問10. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)
- ・「学校や社会における環境教育の充実」の割合が 47.9%と最も高くなっている。 次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」37.3%、「環境に関する広報などの 強化」36.8%となっている。
- ・過去 5 年間の推移でみると、「身近な地域の環境保全について考える機会の提供」が 3.6 ポイント、「学校や社会における環境教育の充実」が 3.0 ポイント、「環境活動の指導者や地域リーダーの育成」が 2.7 ポイント上昇している。このことから、学校や地域においての環境活動を支援するリーダーの育成や、体験学習などを行える場の提供が必要であることがうかがえる。



	숌 計	どの開催	る環境教育の充実学校や社会におけ	育成 や地域リーダーの環境活動の指導者	提供を入手できる場の環境に関する情報	供に触れる機会の提体験学習など自然	などの強化環境に関する広報	の表彰献した市民や団体環境保全活動に貢	る機会の提供保全について考え身近な地域の環境	そ の 他
全体	1,010	19.3%	47.9%	20.5%	30.3%	37.3%	36.8%	7.0%	27.2%	5.2%
性別										
男性	402	19.4%	45.3%	25.1%	30.8%	34.1%	40.3%	8.2%	26.6%	6.7%
女性	583	19.2%	50.3%	17.2%	30.5%	40.1%	35.0%	5.8%	27.6%	4.3%
年代別										
20歳代	73	9.6%	43.8%	13.7%	24.7%	47.9%	30.1%	12.3%	16.4%	4.1%
30歳代	127	15.7%	60.6%	13.4%	33.9%	54.3%	35.4%	10.2%	28.3%	5.5%
40歳代	153	20.3%	54.9%	15.0%	30.1%	42.5%	34.6%	10.5%	23.5%	9.8%
50歳代	170	20.6%	49.4%	15.9%	35.9%	32.9%	38.8%	4.7%	28.2%	2.9%
60歳代	249	17.7%	47.0%	24.9%	34.5%	37.3%	42.2%	3.6%	31.7%	5.6%
70歳代	137	21.9%	35.8%	32.1%	21.9%	24.8%	38.0%	3.6%	26.3%	1.5%
80歳代	70	28.6%	38.6%	25.7%	21.4%	22.9%	30.0%	7.1%	30.0%	8.6%
職業別										
会社員	283	14.8%	50.5%	17.0%	35.3%	40.3%	37.8%	8.1%	27.2%	6.0%
自営業	84	19.0%	44.0%	20.2%	34.5%	29.8%	42.9%	8.3%	28.6%	1.2%
農林漁業	15	0.0%	40.0%	20.0%	26.7%	6.7%	26.7%	0.0%	26.7%	6.7%
公務員	62	22.6%	51.6%	16.1%	25.8%	46.8%	35.5%	9.7%	22.6%	8.1%
学生	30	20.0%	50.0%	20.0%	23.3%	53.3%	36.7%	10.0%	20.0%	6.7%
無職	362	22.7%	44.8%	24.6%	26.2%	34.5%	35.4%	4.4%	27.9%	3.9%
その他	146	20.5%	54.1%	18.5%	32.9%	41.8%	39.0%	9.6%	29.5%	6.8%
地区別										
東部	258	18.2%	45.3%	24.4%	35.3%	38.0%	37.2%	7.8%	28.3%	3.9%
西部	117	20.5%	48.7%	18.8%	30.8%	36.8%	41.0%	6.0%	31.6%	4.3%
中央	254	19.3%	50.0%	18.1%	29.5%	39.0%	37.4%	5.9%	26.8%	7.1%
南部	173	20.2%	49.7%	24.9%	26.0%	31.8%	37.0%	7.5%	26.0%	5.8%
北部	168	18.5%	48.2%	14.3%	30.4%	40.5%	34.5%	7.7%	27.4%	4.2%

【回答者の属性別による結果】

性別では、「環境活動の指導者や地域リーダーの育成」の割合は、男性が女性より 7.9 ポイント高く、一方で、「学校や社会における環境教育の充実」と「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合は、女性がそれぞれ 5、6 ポイント高くなっている。

年代別では、「学校や社会における環境教育の充実」の 30 歳代、「環境に関する情報を入手できる場の提供」の 50 歳代、「体験学習など自然に触れる機会の提供」、 の 30 歳代、「環境に関する広報などの強化」の 60 歳代割合が、他年代に比べ高くなっている。

地区別では、「学校や社会における環境教育の充実」の中央、「環境に関する情報を入手できる場の提供」の東部、「体験学習など自然に触れる機会の提供」の北部、「環境に関する広報などの強化」の西部の割合が、他地区と比べ高くなっている。

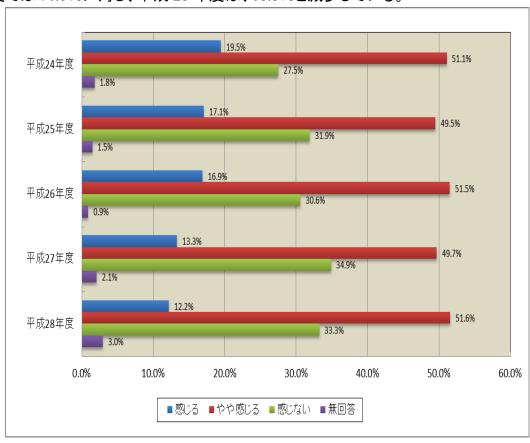
◆参考◆「その他」の内容

- •環境保全活動に対するポイント等の付与等の動機付け
- ・環境保全活動の優遇と罰則の強化
- ・テレビでの報道等・正しい情報の提供(硝酸性窒素等)
- ·CM(芸能人の活用) ·環境保全活動に対する企業の協賛

問11~17「まちづくりプロジェクト」について

問11. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ) ※例:緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- ・「やや感じる」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「感じない」33.3%、「感じる」12.2% となっている。
- ・前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 63.8%と 0.8 ポイント上昇している。
- ・過去 5 年間の推移をみると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、平成 24 年度では 70.6%に対し、平成 28 年度は、63.8%と減少している。



	合計	感じる	やや感じる	感じない	無 回 答
全体	1,010	12.2%	51.6%	33.3%	3.0%
性別					
男性	402	12.2%	50.7%	35.1%	2.0%
女性	583	12.2%	52.1%	32.9%	2.7%
年代別					
20歳代	73	6.8%	47.9%	43.8%	1.4%
30歳代	127	11.8%	47.2%	40.9%	0.0%
40歳代	153	9.2%	50.3%	39.2%	1.3%
50歳代	170	6.5%	53.5%	37.6%	2.4%
60歳代	249	13.3%	56.2%	27.3%	3.2%
70歳代	137	16.8%	56.9%	22.6%	3.6%
80歳代	70	27.1%	32.9%	34.3%	5.7%
職業別					
会社員	283	8.5%	50.2%	40.3%	1.1%
自営業	84	16.7%	52.4%	27.4%	3.6%
農林漁業	15	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
公務員	62	8.1%	46.8%	40.3%	4.8%
学生	30	16.7%	53.3%	30.0%	0.0%
無職	362	12.7%	55.5%	28.5%	3.3%
その他	146	15.8%	48.6%	33.6%	2.1%
地区別					
東部	258	11.6%	50.8%	36.4%	1.2%
西部	117	16.2%	44.4%	37.6%	1.7%
中央	254	7.9%	50.4%	38.6%	3.1%
南部	173	15.0%	56.6%	26.0%	2.3%
北部	168	15.5%	54.2%	26.2%	4.2%

【回答者の属性別にみた結果】

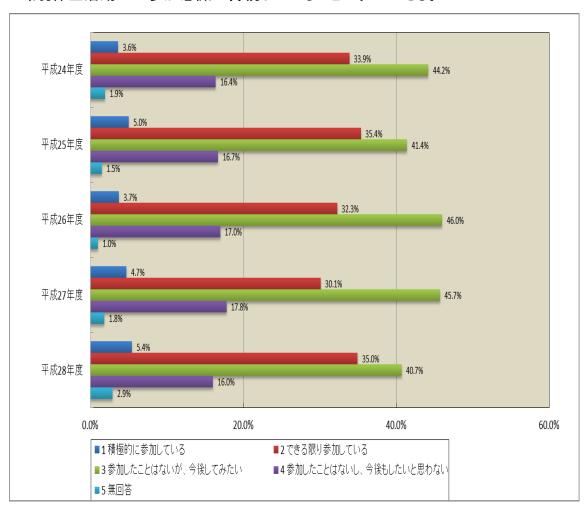
性別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が、女性が男性を 1.4 ポイント 上回っている。

年代別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70 歳代が 73.7%と最も高く、次いで60歳代、30歳代となっている。

地区別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、南部が 71.7%と最も高く、 次いで北部、東部となっている。

問12. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- ・「参加したことはないが、今後してみたい」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「できる 限り参加している」35.0%、「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」16.0% となっている。
- ・前回調査と比較すると、「できる限り参加している」の割合が 35.0%で 4.9 ポイント 上昇、「参加したことはないが、今後してみたい」の割合が 40.7%で 5.0 ポイント減少 している。
- ・過去 5 年間の推移をみると、各項目の割合に大きな変動はないことから、市民の環境保全活動への参加意識が持続していることがうかがえる。



	合計	積極的に参加し	しているできる限り参加	てみたい でみたい	したいと思わないし、今後も	無 回 答
全体	1,010	5.4%	35.0%	40.7%	16.0%	2.9%
性別						
男性	402	6.0%	32.8%	42.0%	18.2%	1.0%
女性	583	5.0%	36.4%	40.8%	14.6%	3.3%
年代別						
20歳代	73	1.4%	16.4%	49.3%	32.9%	0.0%
30歳代	127	2.4%	21.3%	55.1%	21.3%	0.0%
40歳代	153	2.6%	37.9%	45.1%	13.1%	1.3%
50歳代	170	2.4%	37.6%	41.8%	15.3%	2.9%
60歳代	249	10.4%	43.0%	36.9%	9.2%	0.4%
70歳代	137	5.8%	40.1%	32.1%	14.6%	7.3%
80歳代	70	10.0%	31.4%	31.4%	24.3%	7.1%
職業別						
会社員	283	2.8%	29.0%	49.8%	18.0%	0.4%
自営業	84	4.8%	39.3%	44.0%	10.7%	1.2%
農林漁業	15	20.0%	40.0%	33.3%	6.7%	0.0%
公務員	62	1.6%	33.9%	50.0%	11.3%	3.2%
学生	30	10.0%	30.0%	43.3%	13.3%	3.3%
無職	362	7.7%	38.7%	33.7%	16.6%	3.3%
その他	146	4.1%	34.9%	39.7%	17.1%	4.1%
地区別						
東部	258	6.2%	32.9%	45.7%	13.6%	1.6%
西部	117	4.3%	38.5%	36.8%	19.7%	0.9%
中央	254	4.3%	25.6%	47.2%	19.7%	3.1%
南部	173	8.1%	43.9%	31.8%	12.7%	3.5%
北部	168	4.2%	40.5%	38.1%	15.5%	1.8%

【回答者の属性別にみた結果】

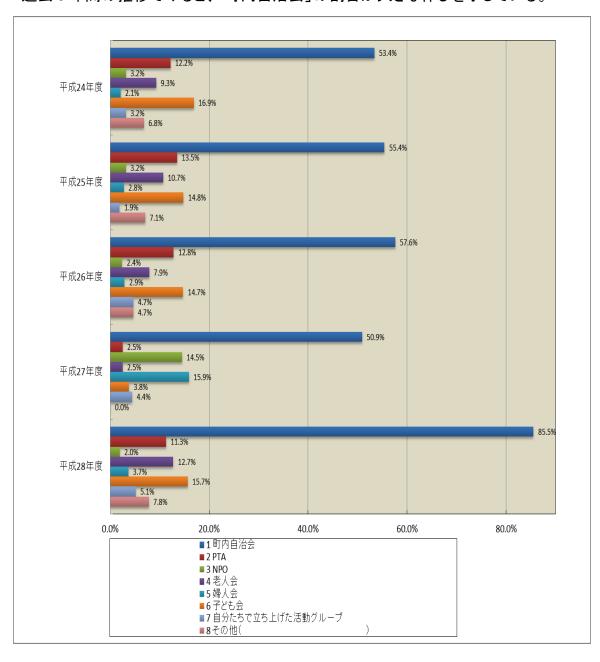
性別では、「積極的に参加している」の割合は、男性が女性を 1.0 ポイント上回っており、「できる限り参加している」の割合は、女性が男性を 3.6 ポイント上回っている。

年代別では、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、60歳代が53.4%と最も高く、次いで、70歳代、80歳代となっている。

地区別では、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、南部が 52.0%と最も高く、次いで、北部、西部となっている。

問12-1. <u>問12で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」</u> <u>と答えられた方にお尋ねします。</u>どのような<u>団体</u>の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- ・「町内自治会」の割合が 85.5%と最も高く、次いで「子ども会」15.7%、「老人会」 12.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「町内自治会」、「老人会」、「子ども会」の前年度に対する伸び率がそれぞれ34.6、10.2、11.9 ポイントと上昇している。一方で、「NPO」、「婦人会」の割合が、それぞれ12.5、12.2 ポイント減少している。
- ・過去5年間の推移でみると、「町内自治会」の割合が大きな伸びを示している。



	合計	町内自治会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	た活動グループ自分たちで立ち上げ	その他(
全体	408	85.5%	11.3%	2.0%	12.7%	3.7%	15.7%	5.1%	7.8%
性別									
男性	156	82.7%	10.3%	3.2%	13.5%	1.3%	16.7%	9.0%	10.9%
女性	241	88.4%	11.2%	1.2%	12.0%	5.0%	14.5%	2.1%	6.2%
年代別									
20歳代	13	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%
30歳代	30	83.3%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%	6.7%	6.7%
40歳代	62	69.4%	69.4%	4.8%	0.0%	0.0%	32.3%	1.6%	14.5%
50歳代	68	0.0%	8.8%	1.5%	0.0%	0.0%	17.6%	1.5%	16.2%
60歳代	133	91.7%	1.5%	2.3%	15.0%	4.5%	8.3%	6.0%	5.3%
70歳代	63	85.7%	1.6%	1.6%	28.6%	7.9%	6.3%	9.5%	3.2%
80歳代	29	86.2%	0.0%	0.0%	44.8%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%
職業別									
会社員	90	82.2%	17.8%	3.3%	2.2%	2.2%	21.1%	4.4%	12.2%
自営業	37	89.2%	8.1%	2.7%	5.4%	5.4%	13.5%	2.7%	10.8%
農林漁業	9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	22	77.3%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%
学生	12	91.7%	8.3%	8.3%	25.0%	8.3%	25.0%	8.3%	8.3%
無職	168	89.3%	3.0%	0.6%	0.0%	2.4%	9.5%	5.4%	3.0%
その他	57	80.7%	15.8%	1.8%	8.8%	7.0%	17.5%	7.0%	12.3%
地区別									
東部	101	82.2%	17.8%	1.0%	12.9%	3.0%	16.8%	5.0%	9.9%
西部	50	84.0%	10.0%	6.0%	18.0%	2.0%	16.0%	8.0%	8.0%
中央	76	84.2%	9.2%	2.6%	14.5%	6.6%	21.1%	3.9%	
南部	90	92.2%	5.6%	1.1%	11.1%	5.6%	8.9%	4.4%	7.8%
北部	75	86.7%	8.0%	1.3%	10.7%	0.0%	14.7%	4.0%	6.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、「町内自治会」の割合は、女性が男性を 5.7 ポイント上回っており、一方で、「自分たちで立ち上げたグループ」の割合は、男性が女性を 6.9 ポイント上回っている。

年代別では、「町内自治会」の割合が、60歳代で最も高くなっている。また、「PTA」、「子ども会」の割合は、子育て世代である30歳代~40歳代が他の年代と比較して高くなっている。

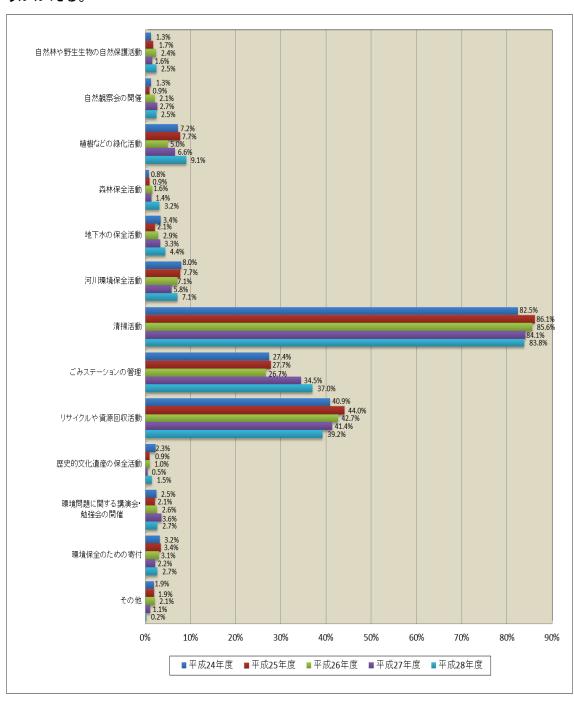
地区別でみると、「町内自治会」の割合は、南部が 92.2%と最も高く、その一方で、「子ども会」の割合が 8.9%と最も低くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・町内のボランティアグループ
- ・子どもの幼稚園の後援会活動
- ・ライオンズクラブ ・職場のボランティア

問12-2. <u>問12で「1積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と</u> <u>答えられた方にお尋ねします。</u>現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- ・「清掃活動」が 83.8%と最も高くなっており、次いで「リサイクルや資源回収活動」 39.2%・「ごみステーションの管理」37.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ゴミステーションの管理」の割合が 2.5 ポイント増加している。
- ・過去5年間の推移でみると、「ごみステーションの管理」や「植樹などの緑化活動」の割合が増加傾向にあることから、市民のゴミ管理意識や自然環境保護意識の向上がうかがえる。



A /4	合計	の自然保護活動自然林や野生生物の	自然観察会の開催	動植物などの緑化活	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステー ション 37	回収活動の投資源の	保全活動歴史的文化遺産の	開催講演会・勉強会の環境問題に関する	寄付保全のための	そ の 他
全体	408	2.5%	2.5%	9.1%	3.2%	4.4%	7.1%	83.8%	37.0%	39.2%	1.5%	2.7%	2.7%	0.2%
性別	150	0.00/	0.00	10.5%	4.50	F 00/	11 50	0.4.00/	00 50	44.70	1.00	0.00	0.00	0.00
男性 女性	156 241	2.6% 2.5%	2.6% 2.1%	13.5% 6.6%	4.5% 2.5%	5.8% 3.3%	11.5% 4.6%	84.6% 83.4%	38.5% 35.3%	41.7% 36.5%	1.9% 1.2%	3.8% 1.7%	2.6%	0.6% 0.0%
年代別	241]	2.0%	Z. 170	0.0%	2.3%	3.3%	4.0%	03.4%	30.3%	30.0%	1.270	1./70	2.9%	U.U70
20歳代	13	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	84.6%	23.1%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
30歳代	30	3.3%	0.0%	6.7%	0.0%	3.3%	6.7%	73.3%	20.0%	40.2%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
40歳代	62	3.2%	1.6%	8.1%	3.2%	1.6%	6.5%	82.3%	25.8%	48.4%	1.6%	3.2%	1.6%	0.0%
50歳代	68	4.4%	2.9%	10.3%	5.9%	7.4%	13.2%	88.2%	33.8%	30.9%	1.5%	1.5%	5.9%	0.0%
60歳代	133	1.5%	3.0%	9.0%	2.3%	3.0%	6.8%	85.7%	42.1%	36.8%	1.5%	2.3%	2.3%	0.0%
70歳代	63	1.6%	1.6%	6.3%	1.6%	4.8%	7.9%	84.1%	46.0%	41.3%	1.6%	3.2%	3.2%	1.6%
80歳代	29	0.0%	3.4%	17.2%	3.4%	6.9%	0.0%	79.3%	41.4%	34.5%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%
職業別	=-1	0.070	91179	.,,=,,	91179	01010	01070	7 010 10	111118	0 11070	VIII.	V 1170	01070	0.070
会社員	90	2.2%	1.1%	8.9%	2.2%	3.3%	10.0%	85.6%	27.8%	37.8%	1.1%	2.2%	3.3%	0.0%
自営業	37	5.4%	5.4%	8.1%	5.4%	2.7%	5.4%	81.1%	40.5%	45.9%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%
農林漁業	9	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	100.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	22	4.5%	0.0%	9.1%	4.5%	4.5%	13.6%	81.8%	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
学生	12	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	168	1.2%	2.4%	7.7%	1.8%	4.8%	4.8%	84.5%	39.9%	32.7%	1.8%	3.0%	3.0%	0.6%
その他	57	5.3%	1.8%	14.0%	7.0%	3.5%	7.0%	75.4%	43.9%	47.4%	1.8%	5.3%	1.8%	0.0%
地区別														
東部	101	2.0%	0.0%	13.9%	1.0%	5.0%	4.0%	88.1%	37.6%	41.6%	2.0%	3.0%	4.0%	1.0%
西部	50	6.0%	8.0%	4.0%	6.0%	2.0%	6.0%	78.0%	34.0%	52.0%	4.0%	6.0%	2.0%	0.0%
中央	76	1.3%	6.6%	6.6%	1.3%	5.3%	3.9%	80.3%	26.3%	36.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
南部	90	2.2%	0.0%	10.0%	3.3%	3.3%	15.6%	82.2%	35.6%	30.0%	0.0%	3.3%	5.6%	0.0%
北部	75	2.7%	0.0%	9.3%	6.7%	5.3%	6.7%	89.3%	50.7%	38.7%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%

【回答者の属性別にみた結果】

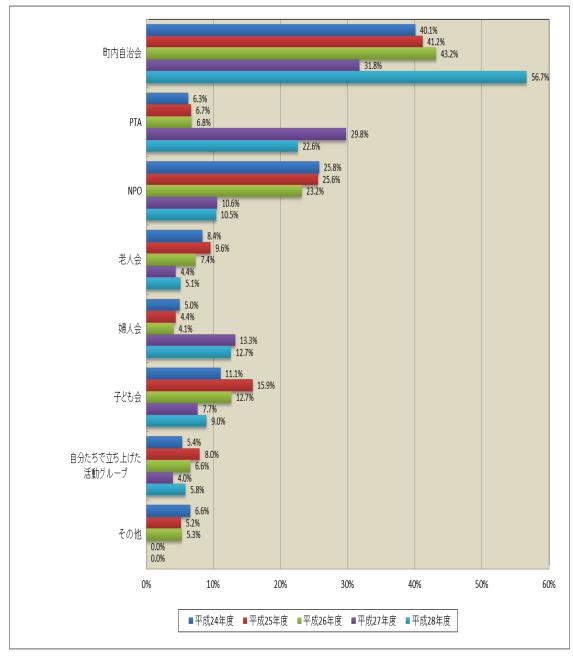
性別では、「植樹などの緑化活動」、「河川環境保全活動」、「リサイクルや資源の 回収活動」の割合が、男性が女性をそれぞれ 6.9、6.9、5.2 ポイント上回っている。

年代別では、「リサイクルや資源回収活動」の割合が 40 歳代以下が高い傾向にあり、また、「ゴミステーションの管理」は 60 歳代以上が高くなっている。

地区別では、「清掃活動」、「ごみステーションの管理」の割合は、北部が最も高く、 次いで、東部、南部となっている。

問12-3. <u>問12で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお</u>尋ねします。どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- ・「町内自治会」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「PTA」22.6%、「婦人会」12.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「町内自治会」の割合が、24.9 ポイントの伸びを示している。
- ・過去5年間の推移をみても、「町内自治会」の割合が顕著な伸びを示している。



	슴 計	町内自治会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	げた活動グルー プ自分たちで立ち上	そ の 他
全体	411	56.7%	22.6%	10.5%	5.1%	12.7%	9.0%	5.8%	0.0%
性別									
男性	169	62.1%	8.3%	23.7%	9.5%	1.8%	10.7%	9.5%	5.3%
女性	238	52.9%	5.9%	22.3%	10.9%	7.1%	14.3%	8.8%	6.3%
年代別	1								
20歳代	36	47.2%	13.9%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	8.3%	2.8%
30歳代	70	50.0%	11.4%	31.4%	2.9%	7.1%	32.9%	15.7%	4.3%
40歳代	69	58.0%	15.9%	24.6%	1.4%	2.9%	23.2%	10.1%	7.2%
50歳代	71	64.8%	1.4%	21.1%	2.8%	2.8%	2.8%	4.2%	8.5%
60歳代	92	57.6%	1.1%	18.5%	12.0%	8.7%	0.0%	7.6%	8.7%
70歳代	44	56.8%	4.5%	11.4%	31.8%	6.8%	6.8%	9.1%	2.3%
80歳代	19	57.9%	0.0%	5.3%	57.9%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
職業別									
会社員	141	59.6%	9.9%	30.5%	5.0%	5.0%	14.2%	10.6%	4.3%
自営業	37	54.1%	5.4%	13.5%	8.1%	5.4%	10.8%	2.7%	8.1%
農林漁業	5	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
公務員	31	54.8%	16.1%	32.3%	0.0%	0.0%	19.4%	16.1%	6.5%
学生	13	61.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	15.4%
無職	122	55.7%	2.5%	13.1%	25.4%	7.4%	8.2%	11.5%	4.1%
その他	58	51.7%	6.9%	27.6%	1.7%	3.4%	19.0%	1.7%	10.3%
地区別									
東部	118	56.8%	5.1%	23.7%	8.5%	5.9%	16.9%	9.3%	5.9%
西部	43	53.5%	4.7%	16.3%	11.6%	4.7%	11.6%	7.0%	9.3%
中央	120	52.5%	9.2%	28.3%	10.8%	5.0%	10.8%	12.5%	5.0%
南部	55	61.8%	1.8%	16.4%	14.5%	1.8%	9.1%	9.1%	7.3%
北部	64	64.1%	9.4%	20.3%	7.8%	4.7%	14.1%	4.7%	3.1%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「町内自治会」の割合が、男性が女性を 9.2 ポイント上回っている。 年代別では、「町内自治会」の割合が、各年代において高くなっている。また、「PTA」、「NPO」、「子ども会」の割合は、20 歳代から 40 歳代が、高くなっている。

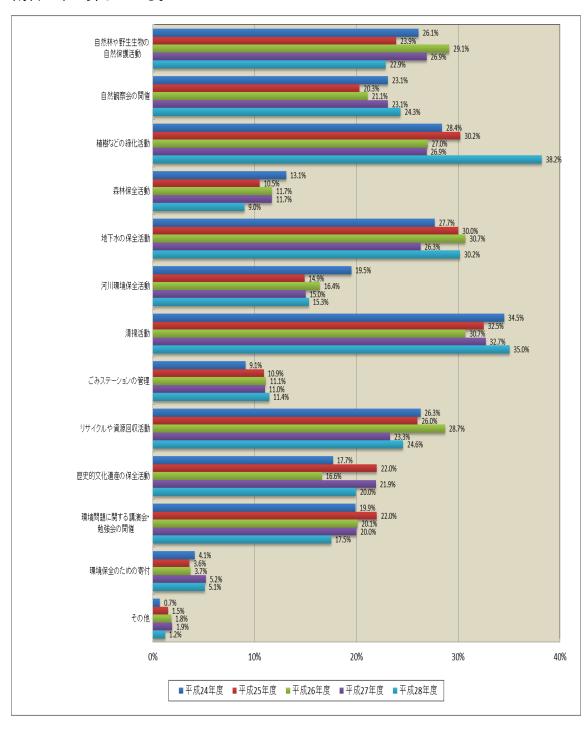
◆参考◆「その他」の内容

- ・興味のある団体に参加したい
- ・企業活動で参加できるもの(JT の清掃)
- •職場行事
- ・個人でも気軽にできるグループ(SNS 等を活用した不特定多数等)
- ・小学校や商店街での活動

問12-4. <u>問12で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお</u>尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- ・「植樹などの緑化活動」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「清掃活動」35.0%、「地下水の保全活動」30.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「自然観察会の開催」、「植樹などの緑化活動」、「清掃活動」 の割合が、それぞれ 1.2、11.3、2.3 ポイントの上昇がみられる。
- ・過去5年をみても、「自然観察会の開催」、「植樹などの緑化活動」、「清掃活動」の割合が、上昇している。



	合計	の自然保護活動自然林や野生生物	自然観察会の開催	植樹などの緑化活	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステー ション	回収活動回収活動	歴史的文化遺産の	講演会・勉強会の環境問題に関する	環境保全のための	そ の 他
全体	411	22.9%	24.3%	38.2%	9.0%	30.2%	15.3%	35.0%	11.4%	24.6%	20.0%	17.5%	5.1%	1.2%
性別														
男性	169	21.9%	24.9%	33.7%	13.0%	34.9%	19.5%	42.6%	11.2%	19.5%	24.3%	18.3%		2.4%
女性	238	22.7%	23.1%	41.6%	5.9%	26.5%	12.2%	30.3%	11.8%	28.2%	16.4%	17.2%	5.5%	0.4%
年代別														
20歳代	36	33.3%	22.2%	33.3%	5.6%	22.2%	5.6%	30.6%	11.1%	19.4%	30.6%	16.7%	2.8%	0.0%
30歳代	70	37.1%	35.7%	50.0%	7.1%	37.1%	20.0%	45.7%	12.9%	40.0%	21.4%	18.6%	7.1%	0.0%
40歳代	69	24.6%	26.1%	33.3%	7.2%	31.9%	15.9%	34.8%	18.8%	26.1%	18.8%	18.8%	7.2%	1.4%
50歳代	71	15.5%	15.5%	32.4%	12.7%	28.2%	12.7%	35.2%	8.5%	23.9%	16.9%	12.7%	1.4%	1.4%
60歳代	92	20.7%	20.7%	44.6%	9.8%	28.3%	15.2%	35.9%	8.7%	18.5%	15.2%	20.7%	4.3%	2.2%
70歳代	44	11.4%	27.3%	31.8%	6.8%	31.8%	15.9%	18.2%	9.1%	18.2%	25.0%	25.0%	9.1%	0.0%
80歳代	19	0.0%	21.1%	26.3%	0.0%	31.6%	21.1%	42.1%	5.3%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%
職業別														
会社員	141	27.7%	22.0%	38.3%	11.3%	36.2%	19.1%	40.4%	12.8%	19.9%	24.1%	19.1%	2.8%	0.7%
自営業	37	16.2%	24.3%	32.4%	2.7%	27.0%	10.8%	27.0%	16.2%	24.3%	24.3%	21.6%	8.1%	0.0%
農林漁業	5	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
公務員	31	9.7%	25.8%	35.5%	6.5%	29.0%	12.9%	41.9%	6.5%	32.3%	6.5%	16.1%	3.2%	0.0%
学生	13	23.1%	23.1%	38.5%	15.4%	7.7%	0.0%	46.2%	0.0%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%
無職	122	18.0%	25.4%	37.7%	8.2%	27.9%	13.9%	31.1%	10.7%	25.4%	13.9%	13.9%	4.1%	3.3%
その他	58	32.8%	25.9%	48.3%	8.6%	27.6%	12.1%	29.3%	10.3%	34.5%	20.7%	19.0%	13.8%	0.0%
地区別														
東部	118	20.3%	27.1%	40.7%	7.6%	31.4%	14.4%	34.7%	11.0%	23.7%	22.0%	15.3%	4.2%	0.0%
西部	43	16.3%	14.0%	34.9%	4.7%	32.6%	14.0%	44.2%	11.6%	27.9%	27.9%	20.9%	0.0%	2.3%
中央	120	27.5%	25.0%	31.7%	11.7%	35.8%	21.7%	30.0%	13.3%	25.8%	24.2%	27.5%	7.5%	0.8%
南部	55	23.6%	27.3%	45.5%	7.3%	21.8%	10.9%	47.3%	12.7%	20.0%	10.9%	9.1%	5.5%	1.8%
北部	64	21.9%	21.9%	43.8%	10.9%	25.0%	10.9%	31.3%	9.4%	29.7%	9.4%	10.9%	6.3%	1.6%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「森林保全活動」、「地下水の保全活動」、「河川環境保全活動」、「清掃活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」の割合が、男性が女性をそれぞれ 7.1、8.4、7.3、12.3、7.9 ポイント上回っている。一方で、「植樹などの緑化活動」、「リサイクルや資源回収活動」の割合は、女性が男性をそれぞれ、7.9、8.7 ポイント上回っている。

年代別では、「自然観察会の開催」、「植樹などの緑化活動」、「清掃活動」の割合は、30歳代が最も高くなっており、次いで60歳代、40歳代となっている

一方で、「森林保全活動」や「環境保全のための寄付」の割合は、各年代で低くなっている。

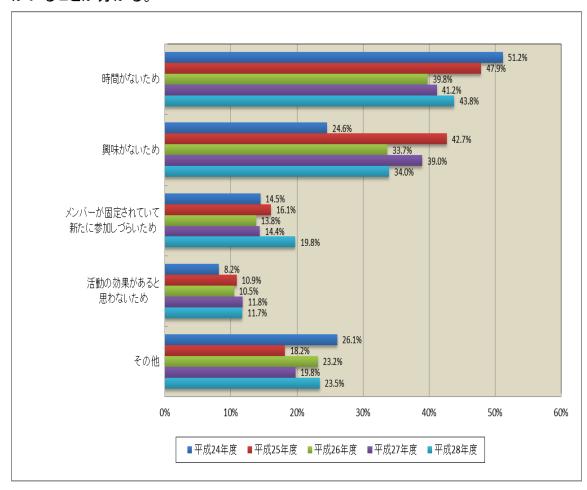
地区別では、「清掃活動」の南部、西部の割合が特に、高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・芸能人又はタレントが開催する自然観察会
- 海岸の保全活動
- 町内をきれいにする為、ゴミの「ポイすて防止活動」
- ・再生可能エネルギーの推進

問12-5. <u>問12で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた</u>方にお尋ねします。参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- ・「時間がないため」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「興味がないため」34.0%、「その他」23.5%となっている。
- ・前回調査及び過去 5 年間をみると、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」の割合が上昇している。このことから参加したくても、しづらさを感じている方がいることが分かる。



	-	-		-		
	合計	時間がないため	興味がないため	加しづらいためれていて新たに参メンバー が固定さ	と思わないため活動の効果がある	そ の 他
全体	162	43.8%	34.0%	19.8%	11.7%	23.5%
性別						
男性	73	38.4%	37.0%	21.9%	16.4%	23.3%
女性	85	49.4%	29.4%	16.5%	7.1%	24.7%
年代別						
20歳代	24	62.5%	54.2%	20.8%	25.0%	0.0%
30歳代	27	63.0%	37.0%	25.9%	11.1%	3.7%
40歳代	20	45.0%	35.0%	15.0%	15.0%	5.0%
50歳代	26	50.0%	38.5%	26.9%	11.5%	15.4%
60歳代	23	47.8%	30.4%	26.1%	13.0%	26.1%
70歳代	20	15.0%	10.0%	5.0%	0.0%	65.0%
80歳代	17	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	76.5%
職業別						
会社員	51	62.7%	33.3%	27.5%	19.6%	9.8%
自営業	9	55.6%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	7	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%
学生	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
無職	60	23.3%	38.3%	15.0%	3.3%	33.3%
その他	25	52.0%	20.0%	12.0%	16.0%	32.0%
地区別						
東部	35	42.9%	28.6%	28.6%	22.9%	20.0%
西部	23	30.4%	34.8%	17.4%	8.7%	30.4%
中央	50	40.0%	42.0%	16.0%	8.0%	26.0%
南部	22	63.6%	27.3%	18.2%	9.1%	27.3%
北部	26	50.0%	19.2%	15.4%	3.8%	19.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「時間がないため」の割合が、女性が男性を 11 ポイント上回っている。また、「興味がないため」、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」、「活動の効果があると思わないため」の割合においては、男性が女性の割合をそれぞれ 7.6、5.4、9.3 ポイント上回っている。

年代別では、「時間がないため」の割合が、20歳代から60歳代が高くなっている。 また、「興味がないため」の割合は、20歳代が最も高くなっている。

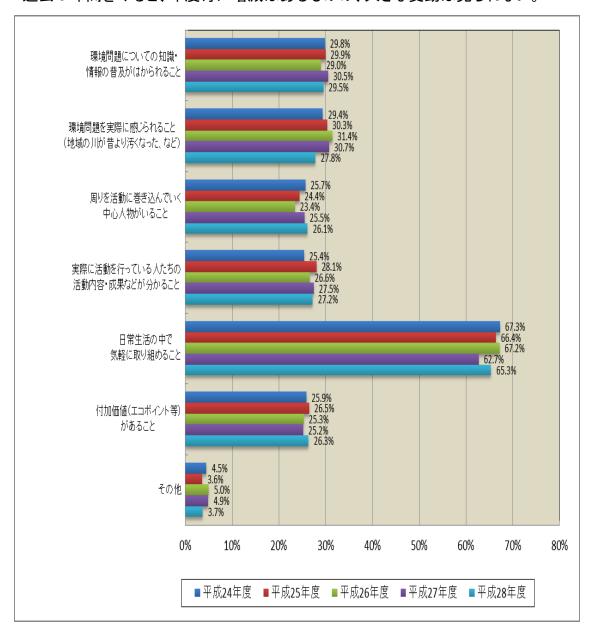
地区別では、「時間がないため」の割合が、南部が最も高く、「興味がないため」の割合は、中央が最も高くなっている。また、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」、「活動の効果があると思わないため」の割合は、東部が最も高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

・身体的・高齢を理由 ・参加する意義を感じないから

問13. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- ・「日常生活の中で、気軽に取り組めること」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「環境問題についての知識・情報の普及がはかられること」29.5%、「環境問題を実際に感じられること」27.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「環境問題を実際に感じられること」の割合が 2.9 ポイント減少している。一方で、「周りの活動に巻き込んでいく中心人物いること」の割合が 0.6 ポイント増加している。
- 過去5年間をみると、年度毎に増減はあるものの、大きな変動は見られない。



	合 計	と 及がはかられるこ の知識・情報の普 環境問題について	ど)り汚くなった、な(地域の川が昔よ感じられることでいることにいいまた。	物がいること込んでいく中心人周りを活動に巻き	が分かること 動内容・成果など ている人たちの活	と軽に取り組めるこ日常生活の中で気	ことイント等)があるイント等)がある	そ の 他
全体	1,010	29.5%	27.8%	26.1%	27.2%	65.3%	26.3%	3.7%
性別								
男性	402	32.8%	30.6%	24.4%	27.4%	57.5%	22.9%	5.7%
女性	583	28.0%	25.9%	27.3%	28.0%	71.9%	29.2%	2.4%
年代別								
20歳代	73	21.9%	38.4%	20.5%	21.9%	57.5%	45.2%	8.2%
30歳代	127	26.0%	39.4%	18.9%	36.2%	66.9%	53.5%	3.9%
40歳代	153	26.8%	28.8%	18.3%	32.0%	65.4%	39.9%	2.0%
50歳代	170	30.0%	24.1%	24.7%	27.1%	71.8%	30.0%	6.5%
60歳代	249	34.5%	28.5%	29.7%	28.5%	73.5%	12.4%	2.4%
70歳代	137	29.9%	18.2%	37.2%	21.9%	56.2%	8.0%	0.7%
80歳代	70	30.0%	20.0%	30.0%	21.4%	51.4%	7.1%	7.1%
職業別								
会社員	283	29.7%	31.4%	22.6%	30.4%	68.2%	39.6%	4.6%
自営業	84	34.5%	23.8%	35.7%	28.6%	71.4%	20.2%	1.2%
農林漁業	15	40.0%	33.3%	26.7%	6.7%	73.3%	6.7%	6.7%
公務員	62	41.9%	27.4%	25.8%	33.9%	66.1%	35.5%	4.8%
学生	30	26.7%	43.3%	23.3%	23.3%	56.7%	20.0%	3.3%
無職	362	28.5%	24.9%	28.7%	26.5%	62.7%	16.0%	1.9%
その他	146	26.7%	27.4%	21.2%	25.3%	67.1%	31.5%	7.5%
東部	258	31.8%	30.6%	28.7%	30.2%	62.4%	27.9%	3.9%
西部	117	26.5%	30.8%	31.6%	24.8%	59.0%	26.5%	3.4%
中央	254	35.4%	24.0%	23.6%	28.3%	67.7%	26.8%	2.4%
南部	173	27.7%	27.7%	24.9%	28.3%	69.4%	23.1%	3.5%
北部	168	23.8%	27.4%	24.4%	24.4%	69.0%	27.4%	5.4%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「環境問題についての知識・情報の普及がはかられること」、「環境問題を実際に感じられること」の割合が、男性が女性を 4.8、4.7 ポイント上回っている。

一方で、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などがわかること」、「日常生活の中で気軽に取り組めること」、「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、女性が男性をそれぞれ 2.9、0.6、14.4、6.3 ポイント上回っている。

年代別では、「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が、60歳代が最も高くなっている。また、「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、20歳代から30歳代において高くなっている。

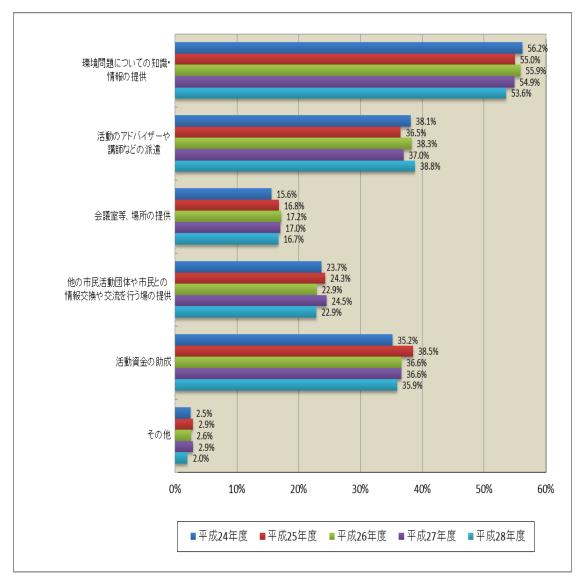
地区別では、「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が、各地域において 他の項目と比較すると高くなっている。

◆ 参考「その他」の内容◆

- ・地域を愛し、大切にしたいと思う気持ちや人とのつながりが地球の中に育っていくこと
- ・まず市職員が実践推進することが必要では?
- やらざる得ない環境を用意する
- 環境保全活動の成果が得られる事が重要
- ・子ども時から、意識改革を行う事、良い心を持つ ・地域での活動

問14. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- ・「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「活動のアドバイザー講師などの派遣」38.8%、「活動資金の助成」35.9%となっている。
- ・前回調査と比較して「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 1.3 ポイントと減少している。一方で、「活動のアドバイザー講師などの派遣」の割合が 1.8 ポイン増加している。
- ・過去5年間をみると、それほど大きな変動は見られない。



	合計	供の知識・情報の提問題について	派遣 ザー や講師などの	提供会議室等、場所の	の提供や立流を行う場や市民との情報交他の市民活動団体	活動資金の助成	そ の 他
全体	1,010	53.6%	38.8%	16.7%	22.9%	35.9%	2.0%
性別							
男性	402	50.7%	39.6%	18.9%	25.6%	40.3%	3.7%
女性	583	56.4%	39.5%	15.4%	21.6%	33.6%	0.9%
年代別							
20歳代	73	54.8%	26.0%	15.1%	27.4%	37.0%	1.4%
30歳代	127	46.5%	41.7%	26.8%	23.6%	46.5%	0.8%
40歳代	153	51.6%	42.5%	17.6%	23.5%	45.1%	1.3%
50歳代	170	58.8%	42.4%	17.1%	26.5%	40.0%	1.8%
60歳代	249	57.0%	41.8%	18.1%	22.5%	34.5%	3.2%
70歳代	137	48.9%	40.1%	10.2%	20.4%	24.1%	0.7%
80歳代	70	60.0%	25.7%	8.6%	17.1%	18.6%	5.7%
職業別							
会社員	283	50.2%	42.0%	18.7%	25.1%	42.0%	2.1%
自営業	84	59.5%	33.3%	15.5%	21.4%	34.5%	0.0%
農林漁業	15	60.0%	40.0%	6.7%	20.0%	40.0%	0.0%
公務員	62	54.8%	46.8%	19.4%	22.6%	41.9%	0.0%
学生	30	46.7%	36.7%	23.3%	20.0%	46.7%	0.0%
無職	362	56.6%	39.0%	14.4%	24.0%	28.5%	2.5%
その他	146	54.1%	38.4%	18.5%	19.9%	41.1%	3.4%
地区別							
東部	258	56.6%	42.2%	17.4%	24.4%	41.5%	2.3%
西部	117	50.4%	36.8%	19.7%	21.4%	35.9%	0.9%
中央	254	51.2%	40.2%	20.5%	26.4%	31.5%	1.6%
南部	173	56.6%	38.7%	9.8%	20.8%	37.0%	2.3%
北部	168	56.5%	37.5%	16.1%	20.8%	33.3%	2.4%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「会議室等、場所の提供」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や 交流を行う場の提供」、「活動資金の助成」の割合が、男性が女性をそれぞれ 3.5、4、 6.7 ポイント上回っている。一方で、「環境問題について知識・情報の提供」の割合は、 女性が男性を 5.7 ポイント上回っている。

年代別では、「会議室等、場所の提供」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」、「活動資金の助成」の割合は、20歳代から60歳代が高い傾向にある。

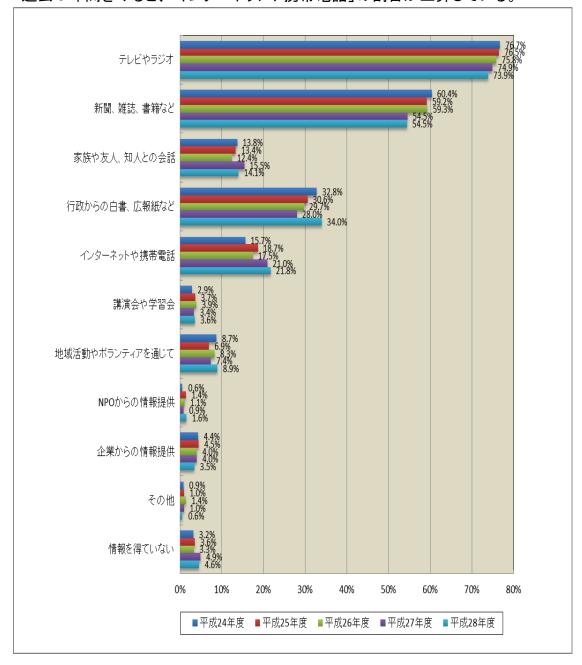
地区別では、「会議室等の提供、場所の提供」の割合が、南部が特に低くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・ゴミ袋、手袋、ホウキなど資材の提供 ・お茶代の助成
- ・市などによるシルバー人材活用や退職者によるボランティア活動の利用

問15. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- ・「テレビやラジオ」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」54.5%、「行政からの白書、広報紙など」34.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」の割合は 1.0 ポイント減少している。
- 一方で、「行政からの白書、広報紙など」の割合は 6.0 ポイント増加している。
- ・過去5年間をみると、「インターネットや携帯電話」の割合が上昇している。



	-											
	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	会話家族や友人、知人との	紙など、広報の白書、広報	電話 インター ネットや携帯	講演会や学習会	アを通じて地域活動やボランティ	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,010	73.9%	54.5%	14.1%	34.0%	21.8%	3.6%	8.9%	1.6%	3.5%	0.6%	4.6%
性別												
男性	402	72.1%	53.2%	11.7%	32.6%	23.9%	4.0%	10.2%	2.0%	4.7%	0.7%	7.0%
女性	583	76.7%	56.4%	16.1%	35.2%	20.8%	3.4%	7.7%	1.2%	2.7%	0.5%	2.9%
年代別												
20歳代	73	80.8%	31.5%	9.6%	16.4%	53.4%	1.4%	4.1%	0.0%	2.7%	0.0%	4.1%
30歳代	127	74.0%	52.8%	11.0%	21.3%	43.3%	3.1%	5.5%	0.8%	5.5%	0.0%	6.3%
40歳代	153	73.2%	56.2%	9.2%	30.1%	32.7%	5.2%	9.2%	2.6%	4.6%	0.7%	5.2%
50歳代	170	80.0%	55.3%	15.9%	40.0%	22.9%	2.4%	7.1%	3.5%	4.7%	1.2%	4.1%
60歳代	249	75.9%	59.0%	17.3%	43.0%	11.6%	3.2%	12.9%	1.2%	2.4%	0.4%	3.6%
70歳代	137	66.4%	59.1%	17.5%	36.5%	1.5%	7.3%	9.5%	0.7%	3.6%	1.5%	5.8%
80歳代	70	71.4%	60.0%	18.6%	38.6%	0.0%	1.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
職業別												
会社員	283	75.3%	48.1%	10.6%	27.9%	36.0%	3.5%	5.7%	2.5%	5.7%	0.4%	4.2%
自営業	84	76.2%	42.9%	17.9%	32.1%	20.2%	0.0%	10.7%	2.4%	2.4%	0.0%	3.6%
農林漁業	15	86.7%	80.0%	6.7%	46.7%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	62	77.4%	58.1%	11.3%	38.7%	24.2%	6.5%	6.5%	1.6%	0.0%	0.0%	6.5%
学生	30	80.0%	70.0%	16.7%	23.3%	30.0%	6.7%	16.7%	3.3%	6.7%	0.0%	3.3%
無職	362	75.4%	60.2%	17.4%	36.2%	11.3%	3.6%	10.2%	0.8%	2.2%	0.3%	3.6%
その他	146	69.2%	56.8%	13.0%	41.1%	21.9%	4.1%	7.5%	0.7%	4.1%	2.7%	8.2%
地区別												
東部	258	72.5%	57.4%	14.3%	33.3%	25.2%	4.3%	7.4%	0.8%	6.2%	0.8%	4.7%
西部	117	76.9%	50.4%	15.4%	30.8%	19.7%	3.4%	12.0%	1.7%	3.4%	0.0%	3.4%
中央	254	73.6%	57.9%	15.0%	35.4%	24.8%	4.7%	7.5%	2.4%	2.0%	0.4%	5.9%
南部	173	77.5%	50.9%	14.5%	35.8%	16.2%	1.2%	12.1%	1.7%	3.5%	0.6%	4.6%
北部	168	77.4%	56.5%	11.3%	35.1%	21.4%	3.6%	7.7%	1.2%	2.4%		2.4%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「インターネットや携帯電話」、「地域活動やボランティアを通じて」の割合が、男性が女性をそれぞれ3.1ポイント、2.5ポイント上回っている。一方で、「テレビやラジオ」、「新聞、雑誌、書籍など」、「家族や友人、知人との会話」、「行政からの白書、広報紙など」の割合は、女性が男性をそれぞれ4.6、3.2、4.4、2.6ポイント上回っている。

年代別では、「インターネットや携帯電話」の割合が、70歳代及び80歳代が他の年代と比較して低くなっている。

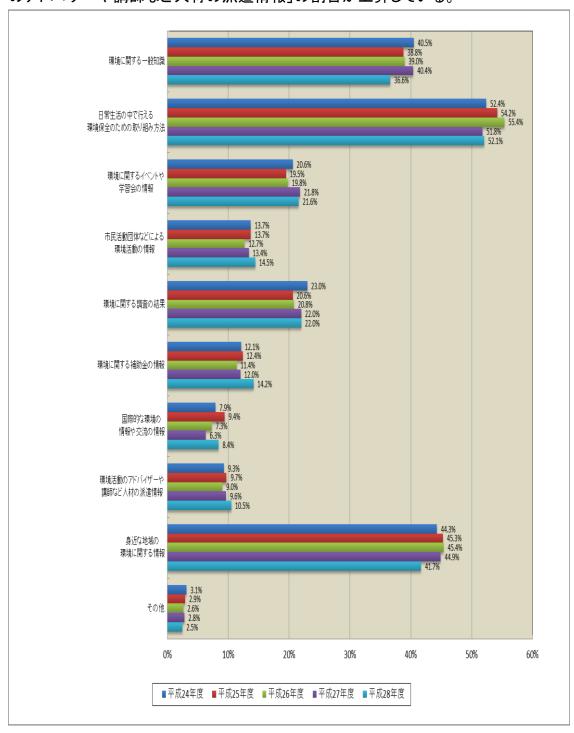
地区別では、「インターネットや携帯電話」、「講演会や学習会」の割合が、南部が 特に低くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・公民館においてある資料
- •町内会、回覧板
- ・お店、学校、職場、電車、バス

問16. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

- ・「日常生活の中で行える環境保全のための取り組みの方法」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「身近な環境に関する情報」41.7%、「環境に関する一般知識」36.6%、となっている。
- ・前回調査や過去5年間の推移をみると、「環境に関する補助金の情報」、「環境活動のアドバザーや講師など人材の派遣情報」の割合が上昇している。



	1		40 TM -	m	I	m -m	L+ +m		`~ .n .m	4.4	
	合 計	環境に関する一般知識	組み方法環境保全のための取り日常生活の中で行える	や学習会の情報	る環境活動の情報市民活動団体などによ	果環境に関する調査の結	情報環境に関する補助金の	交流の情報の情報や国際的な環境の情報や	派遣情報ザー や講師など人材のザー や講師など人材の	する情報身近な地域の環境に関	その他
全体	1,010	36.6%	52.1%	21.6%	14.5%	22.0%	14.2%	8.4%	10.5%	41.7%	2.5%
性別											
男性	402	38.8%	46.8%	22.6%	19.4%	22.9%	17.9%	9.2%	10.4%	40.0%	4.2%
女性	583	35.3%	57.1%	21.3%	11.0%	22.0%	11.5%	8.1%	10.3%	43.7%	1.4%
年代別											
20歳代	73	28.8%	56.2%	16.4%	5.5%	19.2%	17.8%	5.5%	9.6%	35.6%	4.1%
30歳代	127	38.6%	54.3%	29.9%	17.3%	29.9%	18.1%	9.4%	7.9%	36.2%	0.0%
40歳代	153	43.1%	52.3%	22.9%	11.8%	25.5%	22.2%	9.8%	13.1%	38.6%	2.6%
50歳代	170	33.5%	54.7%	21.2%	11.2%	21.2%	10.6%	9.4%	11.2%	40.0%	4.7%
60歳代	249	36.5%	58.2%	22.1%	17.7%	23.7%	13.7%	10.0%	9.6%	50.6%	2.8%
70歳代	137	35.8%	41.6%	19.7%	21.2%	16.1%	8.0%	5.1%	13.1%	38.7%	0.7%
80歳代	70	37.1%	45.7%	12.9%	8.6%	14.3%	8.6%	4.3%	5.7%	48.6%	2.9%
職業別											
会社員	283	35.3%	54.1%	24.7%	15.5%	26.1%	17.3%	11.3%	11.3%	39.9%	1.8%
自営業	84	39.3%	53.6%	14.3%	22.6%	20.2%	17.9%	11.9%	8.3%	41.7%	1.2%
農林漁業	15	33.3%	80.0%	13.3%	6.7%	13.3%	13.3%	0.0%	6.7%	46.7%	6.7%
公務員	62	37.1%	51.6%	27.4%	8.1%	27.4%	14.5%	9.7%	12.9%	38.7%	3.2%
学生	30	43.3%	50.0%	26.7%	13.3%	23.3%	13.3%	6.7%	6.7%	60.0%	6.7%
無職	362	37.0%	51.4%	18.2%	15.7%	19.1%	9.4%	5.8%	9.4%	44.8%	2.2%
その他	146	37.7%	52.7%	28.1%	9.6%	22.6%	17.8%	8.2%	13.7%	38.4%	4.1%
地区別											
東部	258	34.1%	54.7%	25.2%	15.9%	20.9%	15.1%	10.9%	13.2%	41.1%	3.1%
西部	117	39.3%	54.7%	18.8%	15.4%	26.5%	17.1%	6.8%	7.7%	45.3%	0.9%
中央	254	35.4%	48.0%	21.7%	15.0%	23.6%	10.6%	9.4%	12.6%	41.7%	2.4%
南部	173	40.5%	59.0%	22.5%	14.5%	21.4%	13.9%	6.4%	8.7%	47.4%	2.9%
北部	168	39.3%	51.8%	19.6%	12.5%	21.4%	16.7%	6.5%	8.3%	38.1%	3.0%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「環境に関する一般知識」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する補助金の情報」の割合が、男性が女性をそれぞれ 3.5、8.4、6.4、ポイント上回っている。一方で、「日常生活の中で行える環境保全のための取組み方法」、「身近な地域の環境情報」の割合は、女性が男性をそれぞれ 10.3、3.7 ポイント上回っている。

年代別では、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する調査の結果」の割合が、20歳代及び80歳代が他の年代と比較して低くなっている。

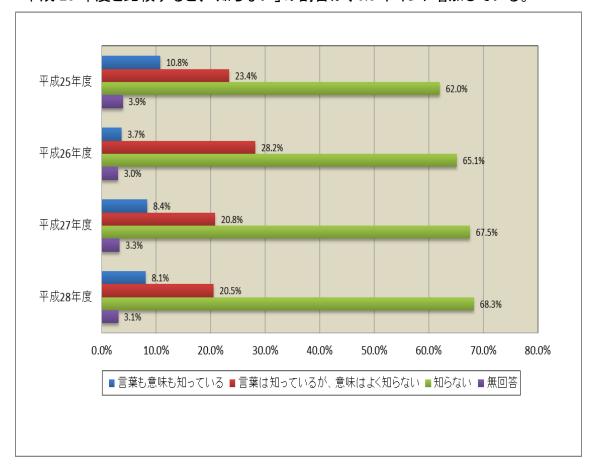
地区別では、「日常生活の中で行える環境保全のための取組みの方法」の南部の割合が、各地区と比べて高くなっている。

◆参考◆「その他」の内容

- ・環境保全のための労働者の雇用情報
- ・新聞、テレビ等で国民に丁寧に伝える
- ・自治会回覧板とか市民センターからの広報活動をもっと活発に
- ·地域 TV

問17. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(一つだけ)

- ・「知らない」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよくしらない」20.5%、「言葉の意味も知っている」8.1%、となっている。
- ・平成25年度と比較すると、「知らない」の割合が、6.3ポイント増加している。



※カーボン・オフセットとは・・・市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせること。

※出典: 平成 25 年度カーボン・オフセットレポート(平成 26 年 3 月環境省)

	合計	いる。味も知って	ない、意味はよく知ら言葉は知っている	知らない	無 回 答
全体	1,010	8.1%	20.5%	68.3%	3.1%
性別					
男性	402	13.9%	24.6%	59.7%	1.7%
女性	583	4.1%	18.2%	75.6%	2.1%
年代別					
20歳代	73	2.7%	11.0%	86.3%	0.0%
30歳代	127	8.7%	11.8%	78.0%	1.6%
40歳代	153	10.5%	21.6%	67.3%	0.7%
50歳代	170	7.6%	21.8%	69.4%	1.2%
60歳代	249	8.4%	23.7%	65.9%	2.0%
70歳代	137	8.8%	24.8%	62.0%	4.4%
80歳代	70	7.1%	24.3%	64.3%	4.3%
職業別					
会社員	283	9.9%	22.3%	66.8%	1.1%
自営業	84	9.5%	26.2%	61.9%	2.4%
農林漁業	15	6.7%	6.7%	86.7%	0.0%
公務員	62	11.3%	25.8%	59.7%	3.2%
学生	30	6.7%	20.0%	70.0%	3.3%
無職	362	7.7%	20.2%	70.4%	1.7%
その他	146	4.1%	15.8%	76.7%	3.4%
地区別					
東部	258	6.6%	26.0%	65.9%	1.6%
西部	117	7.7%	14.5%	76.9%	0.9%
中央	254	11.0%	21.7%	66.1%	1.2%
南部	173	6.9%	17.3%	73.4%	2.3%
北部	168	7.1%	20.2%	69.0%	3.6%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」の割合が、男性が女性をそれぞれ9.8、6.4ポイント上回っている。一方で、「知らない」の割合は、女性が男性を15.9 ポイント上回っている。

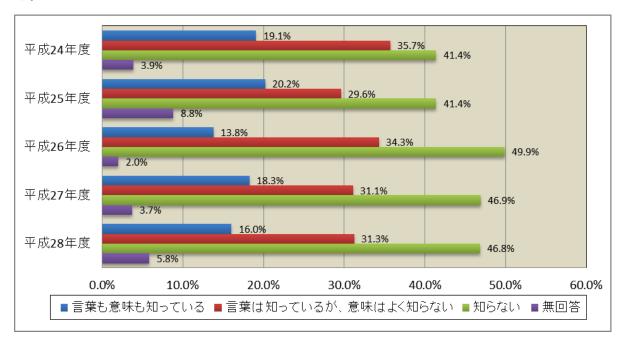
年代別では、「言葉も意味も知っている」の割合は、40歳代が10.5%と最も高くなっている。一方で、「知らない」の割合は、20歳代が86.3%と最も高くなっている。

地区別では、「言葉も意味も知っている」の割合は、中央が 11.0%と最も高くなっている。一方で、「知らない」の割合は、西部が 76.9%と最も高くなっている。

「生物多様性」について

問18.「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

- ・「知らない」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」31.3%、「言葉も意味も知っている」16.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」の割合は、2.3 ポイント減少している。
- ・過去 5 年間でみると、「言葉も意味も知っている」の割合が、3.1 ポイント減少している。



※生物多様性とは・・・生物にはいろいろな種がいて(種の多様性)、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること(種内の多様性)、さらには、いろいろな生活環境があること(生態系の多様性)を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など 多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界は バランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は 危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組み が世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の 啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り 組んでいます。

	合計	いる言葉も意味も知って	ない。意味はよく知ら言葉は知っている	知らない	無 回 答
全体	1,010	16.0%	31.3%	46.8%	5.8%
性別					
男性	402	20.9%	30.3%	45.3%	3.5%
女性	583	13.0%	32.4%	49.7%	4.8%
年代別					
20歳代	73	26.0%	37.0%	37.0%	0.0%
30歳代	127	15.0%	27.6%	55.9%	1.6%
40歳代	153	15.0%	29.4%	52.9%	2.6%
50歳代	170	15.3%	34.7%	48.8%	1.2%
60歳代	249	15.3%	32.5%	47.8%	4.4%
70歳代	137	16.8%	33.6%	38.7%	10.9%
80歳代	70	15.7%	27.1%	47.1%	10.0%
職業別					
会社員	283	17.0%	31.4%	50.2%	1.4%
自営業	84	13.1%	32.1%	48.8%	6.0%
農林漁業	15	0.0%	46.7%	46.7%	6.7%
公務員	62	25.8%	32.3%	40.3%	1.6%
学生	30	43.3%	33.3%	20.0%	3.3%
無職	362	13.3%	31.8%	49.2%	5.8%
その他	146	16.4%	28.8%	49.3%	5.5%
地区別					
東部	258	18.6%	32.9%	42.6%	5.8%
西部	117	12.8%	35.0%	46.2%	6.0%
中央	254	18.5%	33.5%	46.5%	1.6%
南部	173	12.1%	27.7%	55.5%	4.6%
北部	168	15.5%	29.8%	50.6%	4.2%

【回答者の属性別にみた結果】

性別でみると、「言葉も意味も知っている」の割合が、男性が女性を 7.9 ポイント上回っている。一方で、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」、「知らない」の割合は、女性が男性をそれぞれ 2.1、4.4 ポイント上回っている。

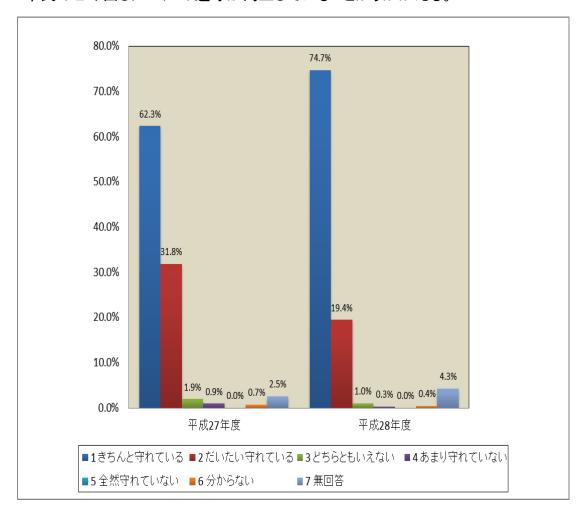
年代別でみると、「言葉も意味も知っている」の割合は、20歳代が26.0%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると「言葉も意味も知っている」割合は、東部が18.6%と最も高く、次いで中央、北部となっている。

「ごみ出しルール」について

問19. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

- ・「きちんと守れている」の割合が 74.7%と最も高く、「だいたい守れている」の割合と合わせると、9割以上の方がごみ出しルールをほぼ守れていると答えている。
- ・前年と比較すると、「きちんと守れている」の割合が、12.4 ポイント増加している。 一方で、「だいたい守れている」の割合が 12.4 ポイント減少していることから、 市民のごみ出しルールの遵守が向上していることがうかがえる。



	合計	きちんと守れている	だいたい守れている	どちらともいえない	あまり守れていない	全然守れていない	分からない	無回答
全体	1,010	74.7%	19.4%	1.0%	0.3%	0.0%	0.4%	4.3%
性別								
男性	415	75.4%	20.0%	1.4%	0.7%	0.0%	0.2%	2.2%
女性	564	77.0%	19.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.5%	2.1%
年代別								
20歳代	81	53.1%	40.7%	4.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	120	68.3%	30.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
40歳代	156	73.1%	23.1%	1.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.6%
50歳代	164	75.0%	23.2%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%
60歳代	240	82.1%	15.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
70歳代	141	86.5%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%
80歳代	80	83.8%	6.3%	0.0%	1.3%	0.0%	2.5%	6.3%
職業別	<u> </u>							
会社員	286	67.8%	28.3%	2.1%	0.3%	0.0%	0.3%	1.0%
自営業	86	77.9%	17.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
農林漁業	12	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	62	79.0%	17.7%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%
学生	35	88.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	349	80.2%	14.9%	0.6%	0.3%	0.0%	0.6%	3.4%
その他	150	77.3%	20.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
地区別								
東部	252	75.4%	21.4%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	2.4%
西部	129	78.3%	15.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.8%	3.1%
中央	242	79.8%	17.8%	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%	1.2%
南部	171	72.5%	22.2%	1.8%	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%
北部	175	75.4%	21.1%	1.1%	0.6%	0.0%	0.0%	1.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「きちんと守れている」、「だいたい守れている」の割合が、女性が男性を 1.3 ポイント上回っている。

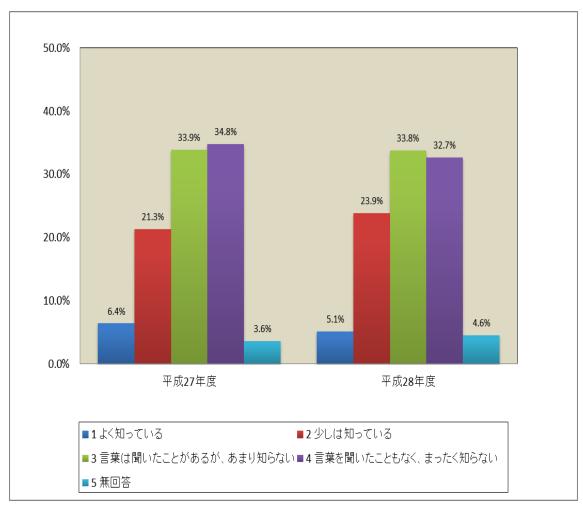
年代別では、「きちんと守れている」の割合が、年代が上がるごとに上昇し、60歳代以上では8割を上回っている。

地区別では、「きちんと守れている」の割合が、最も高い地区は中央の79.8%となっており、次いで西部、その次に東部と北部が同率となっている。

「スマートハウス」について

問20. 「スマートハウス」について知っていますか。(1つだけ)

- ・「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」32.7%、「少しは知っている」23.9%となっている。
- ・前年度と比較すると、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」の割合は、0.1 ポイント減少、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」の割合は、2.1 ポイント減少し、「少しは知っている」の割合が、2.6 ポイント上昇している。



	合計	よく知っている	少しは知っている	ない、あまり知らま葉は聞いたことが	ない、まったく知ら言葉を聞いたことも	無回答
全体	1,010	5.1%	23.9%	33.8%	32.7%	4.6%
性別						
男性	415	8.2%	27.2%	30.1%	32.0%	2.4%
女性	564	3.2%	22.5%	37.8%	34.4%	2.1%
年代別						
20歳代	81	8.6%	11.1%	51.9%	28.4%	0.0%
30歳代	120	5.8%	20.8%	39.2%	34.2%	0.0%
40歳代	156	7.1%	31.4%	32.7%	26.9%	1.9%
50歳代	164	4.9%	28.0%	29.9%	36.0%	1.2%
60歳代	240	4.2%	26.7%	31.7%	35.4%	2.1%
70歳代	141	2.8%	23.4%	35.5%	32.6%	5.7%
80歳代	80	6.3%	18.8%	31.3%	38.8%	5.0%
職業別						
会社員	286	7.3%	26.9%	35.7%	29.4%	0.7%
自営業	86	8.1%	23.3%	33.7%	33.7%	1.2%
農林漁業	12	0.0%	25.0%	41.7%	25.0%	8.3%
公務員	62	1.6%	32.3%	30.6%	33.9%	1.6%
学生	35	5.7%	25.7%	40.0%	28.6%	0.0%
無職	349	3.7%	22.9%	33.2%	37.0%	3.2%
その他	150	5.3%	20.7%	36.0%	34.0%	4.0%
地区別						
東部	252	7.1%	27.0%	32.5%	30.6%	2.8%
西部	129	7.8%	18.6%	40.3%	31.8%	1.6%
中央	242	4.5%	21.9%	32.6%	38.4%	2.5%
南部	171	2.9%	31.6%	33.9%	29.8%	1.8%
北部	175	4.0%	22.3%	36.6%	35.4%	1.7%

【回答者の属性別にみた結果】

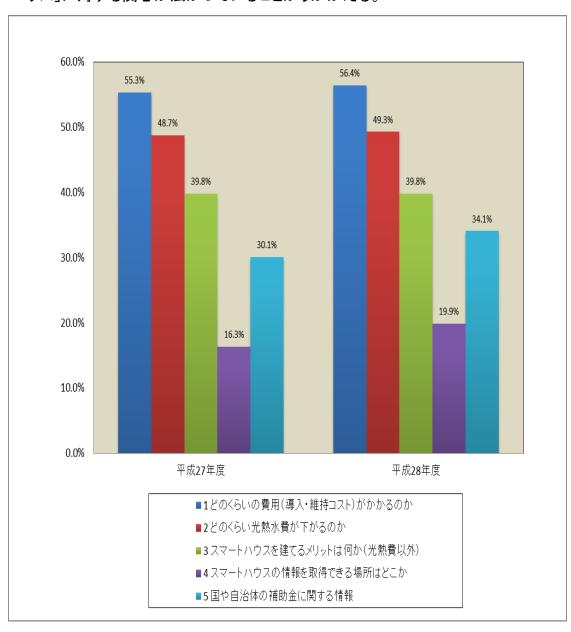
性別では、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合が、男性が女性 を 9.7 ポイント上回っている。

年代別では、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合が、40 歳代が38.5%と他の年代と比較すると最も高くなっており、次いで50歳代、60歳代となっている。

地区別では、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合が、南部が 34.5%と最も高く、次いで東部、その次に西部と中央が同率となっている。

問21.「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか (複数回答可)

- ・「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「どのくらい光熱水費が下がるのか」49.3%、「スマートハウスを建てるメリットは何か(光熱費以外)」39.8%となっている。
- ・昨年度と比較すると、「どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか」と「どのくらい光熱水費が下がるのか」の割合が、それぞれ 1.1、0.6 ポイント上昇していることに加え、「スマートハウスの情報を取得できる場所はどこか」や「国や自治体の補助金に関する情報」の割合もそれぞれ、3.6、4.0 ポイント上昇していることから、「スマートハウス」に対する関心が広がっていることがうかがえる。



	合計	ト)がかかるのか(導入・維持コスどのくらいの費用	が下がるのかどのくらい光熱水費	(光熱費以外)てるメリットは何かスマートハウスを建	はどこか 報を取得できる場所スマートハウスの情	に関する情報国や自治体の補助金
全体	1,010	56.4%	49.3%	39.8%	19.9%	34.1%
性別						
男性	415	62.2%	46.7%	37.8%	21.4%	40.2%
女性	564	58.7%	56.2%	45.7%	21.5%	33.3%
年代別						
20歳代	81	74.1%	56.8%	53.1%	22.2%	46.9%
30歳代	120	70.8%	60.8%	54.2%	20.0%	36.7%
40歳代	156	69.9%	59.6%	42.3%	16.7%	46.2%
50歳代	164	59.1%	51.2%	49.4%	20.7%	40.9%
60歳代	240	55.4%	50.0%	38.8%	25.8%	32.5%
70歳代	141	49.6%	44.7%	31.2%	23.4%	31.9%
80歳代	80	45.0%	42.5%	30.0%	15.0%	16.3%
職業別						
会社員	286	66.4%	53.5%	49.0%	23.8%	44.8%
自営業	86	59.3%	53.5%	44.2%	29.1%	37.2%
農林漁業	12	66.7%	66.7%	33.3%	8.3%	16.7%
公務員	62	69.4%	54.8%	41.9%	17.7%	50.0%
学生	35	65.7%	42.9%	48.6%	25.7%	34.3%
無職	349	56.2%	50.4%	34.4%	18.6%	31.2%
その他	150	54.0%	54.0%	48.0%	21.3%	29.3%
地区別						
東部	252	61.9%	51.6%	40.1%	22.6%	39.3%
西部	129	59.7%	51.2%	47.3%	22.5%	37.2%
中央	242	59.9%	57.4%	40.1%	23.6%	31.8%
南部	171	57.3%	49.1%	43.3%	19.9%	36.8%
北部	175	60.6%	50.3%	42.9%	17.7%	36.0%

【回答者の属性別にみた結果】

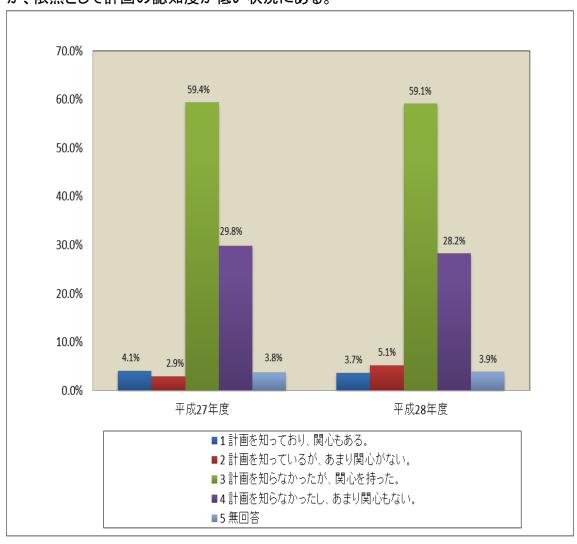
性別では、「どのくらい光熱水費が下がるのか」、「スマートハウス建てるメリットは何か(光熱費以外)」の割合が、女性が男性をそれぞれ 9.5、7.9 ポイント上回っている。一方で、「どれくらい費用(導入・維持コスト)がかかるのか」、「国や自治体の補助金の情報」の割合は、男性が女性をそれぞれ 3.5、6.9 ポイント上回っている。

- ・年代別では、「どのくらい光熱水費が下がるのか」、「スマートハウス建てるメリットは何か(光熱費以外)」、「どれくらい費用(導入・維持コスト)がかかるのか」の割合が、20歳代及び30歳代の割合が他年代と比較し高くなっている。
- ・地区別では、「どれくらい費用(導入・維持コスト)がかかるのか」、「どのくらい光熱水費が下がるのか」、「スマートハウスの情報を取得できる場所はどこか」の南部の割合が、他地区に比べ低くなっている。

「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

問22.「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。(1つだけ)

- ・「計画を知らなかったが、関心を持った。」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「計画を知らなかったし、あまり関心もない。」28.2%、「計画を知っているが、あまり関心が無ない」5.1%となっている。
- ・前年度と比較すると、「計画を知っている」の割合が 8.8%となり、1.8 ポイント上昇したが、依然として計画の認知度が低い状況にある。



	合計	関心もある。	い。あまり関計画を知って	が、関心を持	い。あまり関計画を知らな	無回答
		おり、	心 が な	かった。	心 も な	Ħ,
全体	1,010	3.7%	5.1%	59.1%	28.2%	3.9%
性別						
男性	415	4.3%	6.0%	57.6%	30.6%	1.4%
女性	564	3.2%	4.8%	62.6%	27.5%	2.0%
年代別						
20歳代	81	1.2%	4.9%	44.4%	49.4%	0.0%
30歳代	120	0.8%	4.2%	67.5%	26.7%	0.8%
40歳代	156	1.9%	4.5%	60.9%	32.7%	0.0%
50歳代	164	2.4%	7.9%	57.9%	31.1%	0.6%
60歳代	240	4.2%	4.6%	65.8%	23.3%	2.1%
70歳代	141	6.4%	5.7%	61.0%	23.4%	3.5%
80歳代	80	10.0%	5.0%	53.8%	25.0%	6.3%
職業別						
会社員	286	1.4%	5.9%	62.2%	30.4%	0.0%
自営業	86	5.8%	3.5%	59.3%	30.2%	1.2%
農林漁業	12	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
公務員	62	1.6%	11.3%	59.7%	27.4%	0.0%
学生	35	5.7%	8.6%	62.9%	20.0%	2.9%
無職	349	6.0%	4.0%	57.3%	28.9%	3.7%
その他	150	2.0%	3.3%	64.7%	28.7%	1.3%
地区別						
東部	252	4.4%	5.6%	61.9%	27.8%	0.4%
西部	129	4.7%	3.1%	62.0%	30.2%	0.0%
中央	242	3.3%	5.8%	59.5%	29.3%	2.1%
南部	171	3.5%	6.4%	57.3%	30.4%	2.3%
北部	175	2.9%	5.1%	63.4%	25.7%	2.9%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「計画を知っており、関心もある。」、「計画を知っているが、あまり関心がない。」、「計画を知らなかったし、あまり関心もない。」の割合が、男性が女性をそれぞれ 1.1、1.2、3.1 ポイント上回っている。

一方で、「計画を知らなかったが、関心を持った。」の割合は、女性が男性を 5.0 ポイント上回っている。

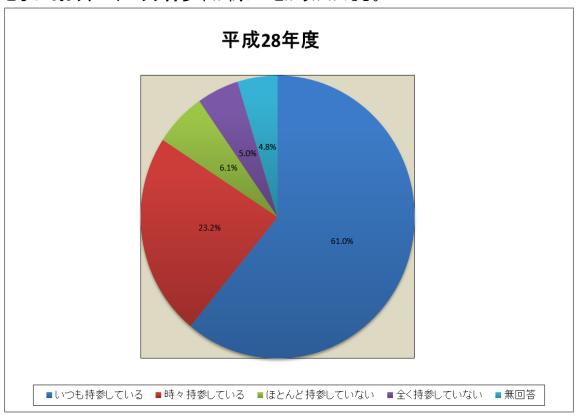
年代別では、「計画を知っており、関心もある」の割合は、20歳代及び30歳代が、それぞれ1.2、0.8%と他の年代と比べ低くなっている。

地区別では、「計画を知っており、関心もある」の割合は、西部が最も高くなっており、次いで東部、南部となっている。

レジ袋削減について

問23. 買い物に行くときマイバッグを持参していますか。(1つだけ)

•「いつも持参している」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「時々持参している」23.2%、となっており、マイバック持参率が高いことがうかがえる。



■属性別回答

	合計	いつも持参している	時々持参している	ほとんど持参していない	全く 持参していない	無回答
全体	1,010	61.0%	23.2%	6.1%	5.0%	4.8%
性別						
男性	415	50.8%	27.2%	9.4%	9.6%	2.9%
女性	564	70.9%	21.3%	3.5%	1.8%	2.5%
年代別						
20歳代	81	39.5%	38.3%	9.9%	12.3%	0.0%
30歳代	120	50.0%	33.3%	8.3%	6.7%	1.7%
40歳代	156	58.3%	28.2%	6.4%	6.4%	0.6%
50歳代	164	62.8%	23.2%	9.1%	4.3%	0.6%
60歳代	240	68.3%	22.5%	4.6%	1.3%	3.3%
70歳代	141	73.0%	13.5%	2.1%	4.3%	7.1%
80歳代	80	75.0%	10.0%	2.5%	7.5%	5.0%
職業別						
会社員	286	52.8%	29.0%	10.8%	6.3%	1.0%
自営業	86	50.0%	31.4%	8.1%	3.5%	7.0%
農林漁業	12	41.7%	41.7%	0.0%	8.3%	8.3%
公務員	62	38.7%	46.8%	8.1%	6.5%	0.0%
学生	35	71.4%	14.3%	2.9%	11.4%	0.0%
無職	349	75.9%	13.2%	3.2%	4.0%	3.7%
その他	150	64.7%	26.0%	3.3%	4.0%	2.0%
地区別						
東部	252	66.7%	20.2%	5.6%	4.0%	3.6%
西部	129	65.1%	21.7%	6.2%	3.1%	3.9%
中央	242	63.2%	24.8%	4.5%	5.4%	2.1%
南部	171	54.4%	26.3%	10.5%	7.6%	1.2%
北部	175	60.0%	28.0%	5.1%	4.6%	2.3%

【回答者の属性別にみた結果】

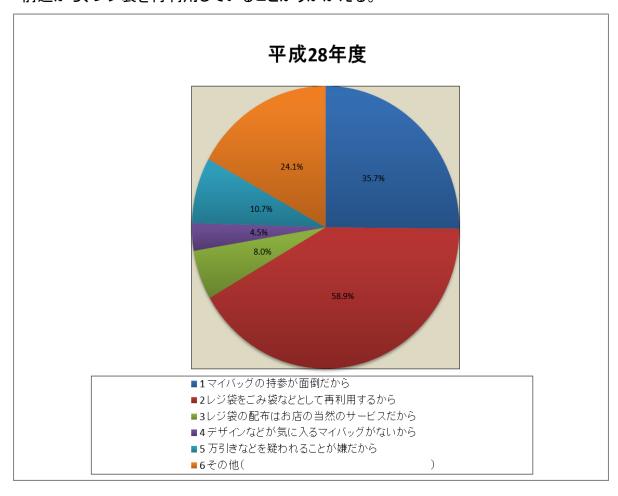
性別では、「いつも持参している」の割合が、女性が男性を 20.1 ポイント上回っている。一方で、「時々持参している」、「ほとんど持参していない」、「全く持参していない」の割合は、男性が女性をそれぞれ、5.9、5.9、7.8 ポイント上回っている。

年代別では、「いつも持参している」と「時々持参している」を合わせた割合は、60歳代が90.8%と最も高く、他年代も20歳代を除き8割以上の高い割合である。

地区別では、「いつも持参している」、「時々持参している」を合わせた割合は、中央と北部が88.0%と最も高くなっており、次いで東部、西部も85%以上となっている。

問23-1. <u>問23で「3 ほとんど持参していない」「4 全く持参していない」と答えられた方にお尋ねします。</u>どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。 (複数回答可)

- ・「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」の割合が 58.9%と最も高く、その他「マイバッグの持参が面倒だから」35.7%などとなっている。
- ・前述から、レジ袋を再利用していることがうかがえる。



■属性別回答

	合計	マイバッ グの持参が面倒	して再利用するからレジ袋をごみ袋などと	然のサービスだからレジ袋の配布はお店の当	マイバッ グがないからデザインなどが気に入る	とが嫌 だから とが嫌 だから	その ()
全体	112	35.7%	58.9%	8.0%	4.5%	10.7%	24.1%
性別		,					
男性	79	3.8%	57.0%	8.9%	5.1%	10.1%	20.3%
女性	30	23.3%	60.0%	3.3%	3.3%	10.0%	36.7%
年代別							
20歳代	18	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%	11.1%	44.4%
30歳代	18	38.9%	50.0%	0.0%	5.6%	0.0%	22.2%
40歳代	20	40.0%	55.0%	10.0%	0.0%	15.0%	20.0%
50歳代	22	40.9%	59.1%	4.5%	13.6%	9.1%	18.2%
60歳代	14	14.3%	50.0%	7.1%	7.1%	7.1%	35.7%
70歳代	9	44.4%	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
80歳代	8	25.0%	75.0%	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%
職業別							
会社員	49	40.8%	57.1%	6.1%	6.1%	6.1%	26.5%
自営業	10	30.0%	80.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%
農林漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	9	55.6%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
学生	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
無職	25	32.0%	60.0%	16.0%	4.0%	16.0%	20.0%
その他	11	9.1%	45.5%	9.1%	0.0%	9.1%	45.5%
地区別							
東部	24	37.5%	54.2%	4.2%	4.2%	12.5%	20.8%
西部	12	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	41.7%
中央	24	33.3%	75.0%	16.7%	4.2%	8.3%	4.2%
南部	31	35.5%	48.4%	6.5%	6.5%	12.9%	32.3%
北部	17	23.5%	70.6%	11.8%	5.9%	0.0%	35.3%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「マイバッグの持参が面倒だから」、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」の割合が、女性が男性をそれぞれ19.5、3.0 ポイント上回っている。

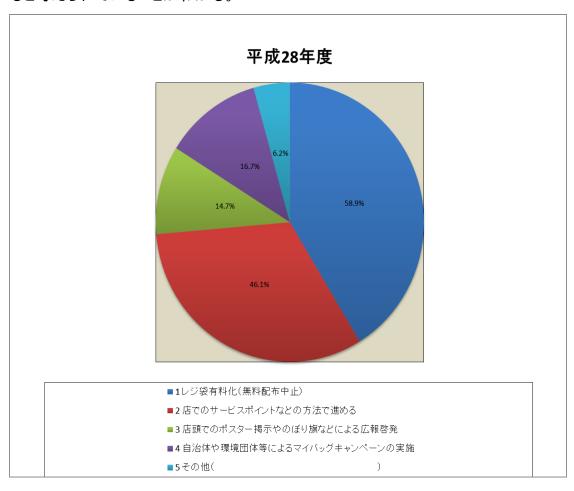
一方で、「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」、「デザインなどが気に入るバッグがないから」の割合は、男性が女性をそれぞれ、5.6、1.8 ポイント上回っている。

年代別では、「マイバッグの持参が面倒だから」、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」、「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」の割合が、70歳代及び80歳代が、他の年代と比較すると高くなっている。

地区別では、「レジ袋をごみ袋などとして再利用するから」、「レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから」の割合が、中央と北部が他地区と比較して最も高くなっている。

問24. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答可)

- ・「レジ袋有料化(無料配布中止)」の割合が58.9%と最も高く、次いで「店でのサービスポイントなどの方法で進める」46.1%、「自治体や環境団体等によるマイバックキャンペーン」16.7%となっている。
- ・前述から、レジ袋有料化やマイバッグ利用によるサービスがレジ袋削減に効果があると考えられていることがわかる。



■属性別回答

全体	合 計 1,010	レジ袋有料化 (無料配 58.9%	イントなどの方法 で進める 46.1%	やのぼり旗などによる 店頭でのポスター 掲示 14.7%	よるマイバッ グキャン 自治体や環境団体等に 16.7%	そ の 他 (6.2%
<u> </u>	1,010	30.970	40.1/0	14.7/0	10.7/0	0.2/0
男性	415 564	56.6% 62.9%	40.2% 52.1%	0.0% 13.3%	16.9% 17.0%	0.0%
年代別	504	02.3/0	JZ.1/0	10.0/0	17.0/0	0.070
20歳代	81	49.4%	56.8%	7.4%	13.6%	9.9%
30歳代	120	57.5%	57.5%	13.3%	12.5%	6.7%
40歳代	156	66.0%	51.9%	14.7%	14.7%	0.0%
60歳代	240	60.0%	46.7%	20.8%	17.9%	0.0%
70歳代	141	60.3%	40.4%	13.5%	19.9%	0.0%
80歳代	80	58.8%	25.0%	13.8%	27.5%	0.0%
職業別						
会社員	286	60.5%	49.7%	13.6%	0.0%	7.7%
自営業	86	53.5%	48.8%	12.8%	20.9%	5.8%
農林漁業	12	50.0%	50.0%	8.3%	0.0%	16.7%
公務員	62	69.4%	46.8%	6.5%	9.7%	6.5%
学生	35	57.1%	42.9%	14.3%	8.6%	11.4%
無職	349	59.3%	42.1%	18.1%	22.3%	0.0%
その他	150	63.3%	54.7%	16.0%	14.0%	4.7%
地区別					,	_
東部	252	61.9%	47.6%	13.9%	16.7%	6.3%
西部	129	59.7%	38.8%	10.1%	18.6%	5.4%
中央	242	58.7%	51.7%	16.5%	16.1%	6.2%
南部	171	56.1%	48.0%	17.0%	17.0%	8.8%
北部	175	65.7%	47.4%	15.4%	18.3%	5.1%

【回答者の属性別にみた結果】

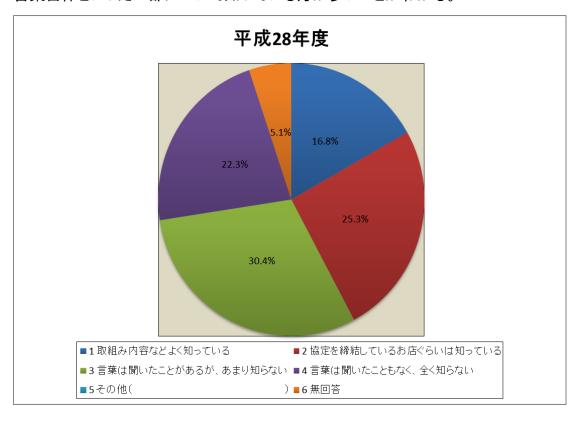
性別では、全ての項目において、女性が男性の割合を上回っている。

年代別では、「レジ袋有料化(無料配布中止)」の割合が 40 歳代が特に高く、また、「店でのサービスポイントの方法で進める」の割合は、20歳代及び 30歳代において高くなっている。

地区別では、「レジ袋有料化(無料配布中止)」の割合は、北部が高くなっており、次いで、東部、西部となっている。

問25. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定について知っていますか。(1つだけ)

- ・「言葉は聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」25.3%、「言葉は聞いたこともなく、全く知らない」22.3%となっている。
- ・前述から、協定についての認知度は低いものの、協定を締結しているお店や協定の 言葉自体といった一部について知っている方が多いことがわかる。



■属性別回答

	合計	取組み内容などよく知っ	ぐらいは知っ ている協定を締結しているお店	が、あまり知らない言葉は聞いたことがある	く、全く知らない言葉は聞いたこともな	その他()	無回答
全体	1,010	16.8%	25.3%	30.4%	22.3%	0.0%	5.1%
性別							
男性	415	14.9%	25.5%	29.4%	28.0%	0.0%	2.2%
女性	564	18.8%	26.2%	32.1%	19.1%	0.0%	3.7%
年代別							
20歳代	81	9.9%	18.5%	25.9%	44.4%	0.0%	1.2%
30歳代	120	7.5%	15.8%	49.2%	26.7%	0.0%	0.8%
40歳代	156	10.3%	24.4%	35.3%	28.8%	0.0%	1.3%
50歳代	164	15.9%	30.5%	26.8%	26.2%	0.0%	0.6%
60歳代	240	23.3%	29.2%	30.4%	14.6%	0.0%	2.5%
70歳代	141	27.0%	27.7%	27.0%	9.9%	0.0%	8.5%
80歳代	80	20.0%	27.5%	20.0%	23.8%	0.0%	8.8%
職業別							
会社員	286	11.9%	21.0%	36.4%	29.4%	0.0%	1.4%
自営業	86	15.1%	32.6%	8.1%	15.1%	0.0%	4.7%
農林漁業	12	33.3%	33.3%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%
公務員	62	11.3%	27.4%	33.9%	27.4%	0.0%	0.0%
学生	35	14.3%	25.7%	28.6%	28.6%	0.0%	2.9%
無職	349	23.5%	25.8%	26.1%	19.5%	0.0%	5.2%
その他	150	15.3%	30.0%	34.7%	18.7%	0.0%	2.0%
地区別							
東部	252	21.4%	25.8%	26.6%	23.4%	0.0%	3.6%
西部	129	14.7%	27.9%	33.3%	20.2%	0.0%	3.9%
中央	242	14.9%	22.3%	33.9%	25.6%	0.0%	3.3%
南部	171	17.0%	25.1%	34.5%	20.5%	0.0%	2.9%
北部	175	17.1%	29.7%	28.6%	22.9%	22.9%	1.7%

【回答者の属性別にみた結果】

性別では、「取り組みの内容などよく知っている」、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」の割合が、女性が男性をそれぞれ 3.9、2.7 ポイント上回っている。

一方で、「言葉は聞いたこともなく、全く知らない」の割合は、男性が女性を 8.9 ポイント上回っている。

年代別では、「取り組みの内容などよく知っている」の割合は、20歳代から40歳代「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」の割合は、20歳及び30歳代が他の年代と比較すると低くなっている。

地区別では、「取り組みの内容などよく知っている」と「協定を締結しているお店ぐらいは知っている」を合わせた割合は、東部が 47.2%と最も高くなっており、次いで、北部、西部となっている。

3. 参考資料(調査票)

「第3次熊本市環境総合計画」に関する市民アンケート

■調査ご協力のお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、 誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満 20 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 3,000 人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※「第3次熊本市環境総合計画」は、熊本市本庁舎の市政情報プラザ及び 環境政策課、又は各区役所、各総合出張所及び出張所でご覧になれます。

又は、市のホームページ(<u>http://www.city.kumamoto.jp/</u>)でもご確認 いただけます。

■アンケートの回答方法について

- 回答は、封筒の宛名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- アンケート用紙の 2 ページ目以降を、同封の返信用封筒にて、<u>平成29年</u> 2月3日(金)までに投函してください。(切手は不要です。)

■お問い合わせ先

熊本市役所 環境局 環境政策課

電 話: 096-328-2427 FAX: 096-359-9945

電子メール: kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.ip

担当:宮部、組崎

▮ご回答いただく前にお読みください。

■ 熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において、計画の環境目標(基本計画)と重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

計画の環境目標(基本計画)とは、本市が目指す都市像である「未来につな」ぎ、世界に誇れる環境文化都市」の実現に向けた具体的な方向性を示すものとして、5つの環境目標が設定されており、総合的・体系的に施策を取り組むもしのです。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもとに、様々な年代・性別・ライフステージにおいて、地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことです。さらにはその行動を、家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたいと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできた 「のは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた 人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、 「方法が分からなかったりなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えの 「もと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供 」を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことです。

また、設問 18 以降では、新たに市民のみなさまの現況を調査するために 追加した設問となっております。

〈回答方法〉

- *設問の答えとして、あなたご自身のこと、またはあなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に丸(O)をつけてください。
- *設問番号に枝番がついていないものは、全員がご回答ください。
- (例) <u>問2</u> この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。
- *設問番号に枝番が<u>ついている</u>ものは、条件に該当する方だけご回答ください。
 - (例) 問2-2 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

次のページより、設問が始まります。

I 回答者ご自身や地域の環境保全活動等についてお聞きします。

「熊本市の環境目標(基本計画)」について _____

問1. あなたは、熊本市の良好な環境(生活・自然環境全般)が守られていると感じますか。(1 つだけ)

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問 1-1. <u>問 1 で「3 どちらともいえない」「4 あまり感じない」「5 全</u> く感じない」と答えられた方にお尋ねします。

どのような理由から、そう思われますか?具体的に記入してください。

3, 4, 5の理由	

問2. あなたは、熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問3.あなたは、熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問4. あなたが、お住まいになっている地域では、良好な居住環境が(まち並・日照・風通し・緑化等)が保たれていると感じますか。(1つだけ)

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問 5~10「ひとづくりプロジェクト」について

問5. あなたは日ごろ、環境保全のため次問(問5-1)のような実践活動を行っていますか。(1つだけ)

- 1 常に行っている
- 2 時々行っている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり行っていない
- 5 全く行っていない

問5-1. 次の環境保全の実践項目の中で、あなたが行っていることをすべて選んでください。(いくつでも可)

- 1 照明やテレビをつけっぱなしにしない
- 2 エアコンを適切な温度に設定し、ムダな使用をしない
- 3 水道の蛇口の開閉をこまめにする
- 4 買い物の際にはエコ商品を選ぶ
- 5 レジ袋を断り、マイバッグを使う
- 6 家電製品などを買うときには、省エネルギータイプのものを選ぶ
- 7 マイカーの使用を控え、電車やバスを利用する
- 8 自動車を運転するときには、エコドライブをする
- 9 ごみ分別を徹底するなど、ごみ減量に努めている

問6. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

(1つだけ)	
1 参加した	
2 参加していない	
問7-1. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。	
この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加	加しま
したか。(複数回答可)	
1 自治会・老人会・PTA等の学習会	
2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等	
3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等	
4 学校や職場で行われる勉強会	
5 環境フェアなどのイベント	
6 その他 ()
問7-2. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。	
参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動()	舌動)
はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)	
1 ある(実践している内容について、簡単にご記入ください。)	_
2 ない(実践していない理由について特に何かある場合は記入して	てくださ
(1 ₀)	
	\rightarrow
)

問7. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

問7-3. <u>問7で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。</u> 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がなかったため
- 2 経済的な負担が増加するため
- 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
- 4 興味がなかったため
- 5 その他(
- 問8. 今後、どのような<u>内容</u>の学習会等に参加してみたいと思いますか。 (複数回答可)
 - 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
 - 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
 - 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて 学べるもの

)

)

- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他(
- 問9. どのような<u>条件</u>が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)
 - 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
 - 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
 - 3 無料で参加できる
 - 4 気軽に参加することができる
 - 5 専門的な知識を身につけることができる
 - 6 友人や家族と一緒に参加することができる
 - 7 その他(

問 10. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他(

問 11~17「まちづくりプロジェクト」について

問 11.環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。

(1つだけ) ※例:緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問 12.日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

問 12-1. <u>問 12 で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参</u>加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 町内自治会
- 2 PTA
- 3 NPO
- 4 老人会
- 5 婦人会
- 6 子ども会
- 7 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 8 その他(

)

)

問 12-2. <u>問 12で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。</u>

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。 (複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他(

問 12-3. <u>問 12 で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答え</u>られた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 町内自治会
- 2 PTA
- 3 NPO
- 4 老人会
- 5 婦人会
- 6 子ども会
- 7 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 8 その他(

)

)

問 12-4. <u>問 12 で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答え</u>られた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他(

問 12-5。 <u>問 12 で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」</u> と答えられた方にお<u>尋ねします。</u>

)

)

)

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他(

問 13. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかられること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他(

問 14. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他(

)

)

)

問 15. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報紙など
- 5 インターネットや携帯電話
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPO からの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他(
- 11 情報を得ていない

問 16. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は 何ですか。(複数回答可)

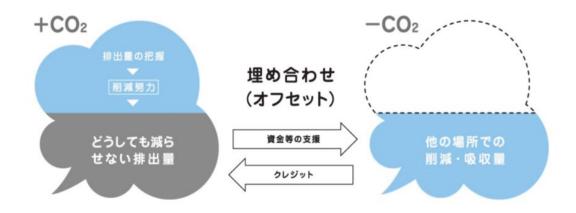
- 1 環境に関する一般知識
- 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
- 3 環境に関するイベントや学習会の情報
- 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
- 5 環境に関する調査の結果
- 6 環境に関する補助金の情報
- 7 国際的な環境の情報や交流の情報
- 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報
- 9 身近な地域の環境に関する情報
- 10 その他(

問 17. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※カーボン・オフセットとは・・・

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることを言います。



※出典: 平成 25 年度カーボン・オフセットレポート(平成 26 年 3 月環境省)

過去の熊本市関連イベントでの「カーボン・オフセット」実施事業

- わくわく江津湖フェスタ(平成24~27年度)
- ・熊本城マラソン(平成24~25年度)
- ・熊本暮らし人みずあかり(平成26年度)

「生物多様性」について

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きもののつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設 問にお答えください。

問 18. 「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・

生物にはいろいろな種がいて(種の多様性)、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること(種内の多様性)、さらには、いろいろな生活環境があること(生態系の多様性)をいいます。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など 多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界は バランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は 危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組み が世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の 啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り 組んでいます。

「ごみ出しルール」について

問 19. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

- 1 きちんと守っている。
- 2 だいたい守っている。
- 3 どちらともいえない。
- 4 あまり守っていない。
- 5 全然守っていない。
- 6 分からない。

「スマートハウス」について

問 20. 「スマートハウス」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない
- ※「スマートハウス」とは・・・

スマートハウスについては、様々な定義があるものの、ここでは、①創工ネ (太陽光等でエネルギーを創る)、②蓄エネ(蓄電池に電気をためる)、③省エ ネ(高効率のエアコン等の機器や HEMS*1 を導入)が行える家と定義します。

- ※1 HEMS(ヘムス)とは、家庭内の電気使用量等が把握できるとともに、 自動もしくは手動で最適化することができるシステム。
- 問 21.「スマートハウス」について具体的にどのようなことが知りたいですか。 (複数回答可)
 - 1 どのくらいの費用(導入・維持コスト)がかかるのか
 - 2 どのくらい光熱費が下がるのか
 - 3 スマートハウスを建てるメリットは何か(光熱費以外)
 - 4 スマートハウスの情報を取得できる場所はどこか
 - 5 国や自治体の補助金に関する情報

「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

- 問 22. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どの くらい関心を持っていますか。(1 つだけ)
 - 1 計画を知っており、関心もある。
 - 2 計画を知っているが、あまり関心がない。
 - 3 計画を知らなかったが、関心を持った。
 - 4 計画を知らなかったし、あまり関心もない。
- ※「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」とは・・・

近年の異常気象が引き起こす集中豪雨による洪水、熱中症多発の原因といわれる地球温暖化を防止するため、本市の地域特性を活かした具体的な取組等について定めた計画です。平成26年度に改訂し、「市民の具体的な取組」を掲載して、身近な温暖化対策についても紹介しています。

「レジ袋削減」について

問23. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。(1つだけ)

- 1 いつも持参している
- 2 時々持参している
- 3 ほとんど持参していない
- 4 全く持参していない

問23-1. 問23で「3 ほとんど持参していない」「4 全く持参していない」と答えられた方にお尋ねします。

どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。(複数回答可)

- 1 マイバッグの持参が面倒だから
- 2 レジ袋をごみ袋などとして再利用するから
- 3 レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから
- 4 デザインなどが気に入るマイバッグがないから
- 5 万引きなどを疑われることが嫌だから
- 6 その他(

問24. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答可)

- 1 レジ袋有料化(無料配布中止)
- 2 店でのサービスポイントなどの方法で進める
- 3 店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発
- 4 自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施
- 5 その他(

問25. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定について知っていますか。(1つだけ)

)

- 1 取組み内容などよく知っている
- 2 協定を締結しているお店ぐらいは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、全く知らない

※レジ袋削減について

スーパーなどで使用されるレジ袋は、日本だけで、年間約300億枚、1人あたりにすると年間300枚程度使用していることになります。レジ袋の製造・廃棄(焼却)の過程で発生するCO2は年間約180万トンと言われ、レジ袋の削減は、市民が身近にできるごみ減量対策であり、また、地球温暖化対策です。

熊本市では、レジ袋の無料配布を中止するなどレジ袋削減に取り組む事業者と協定を締結し、支援することで、レジ袋削減を推進しており、年間約3,000万枚(ドラム缶約2,800本分の原油)のレジ袋を削減しています。

Ⅱ 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

1 男 2 女

2. 年齢

1	20歳代	2	30歳代	
3	40歳代	4	50歳代	
5	60歳代	6	70歳代	
7	80歳代			

3. 職業

- 1 会社員
- 2 自営業
- 3 農林漁業
- 4 公務員
- 5 学生
- 6 無職
- 7 その他(

4. お住まいの地区(回答欄にOをつけてください。)

回答欄	該当地区(小学校区域)
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、
	託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木
	東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、
	松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、
	本莊、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、飽田東、飽田南、
	飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、
	豊田、田迎西、力合西
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、
	西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

くまもと市の環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書 【平成29年度版】

発 行 平成29年6月

編 集 熊本市環境局環境推進部環境政策課 熊本市中央区手取本町1番1号 Tel 096-328-2427